となし近々太原に踊り南京政府及西北勝鎮に蘇し係職動告をなすと同時に全側に蘇し和平通電を設す「北平二十七日資電」太原來電に依れば闔錫山氏はなは馮玉蘇氏と共に五台山に在るが蘇入機関でも

閻氏停戦勸告せん

「東京二十八日頭電」大戦省の既 を開始してゐるが、各省の復活要求 で、各省では夫々経動な加へてゐるの で、各省では夫々経動な便活要求 で、各省では夫々経動な個に及ばれば を開始してゐるが、各省の復活要求 で、

頻に列

車を襲撃

壓の裏を潜って

赤色テー

ロリ團が

相は二十六日演口總理に窮狀をつ時日も切迫してゐるので井上

を聞る事となった

吉林縣下鮮農に

突如立退を强要

軍事密告の理由にて

▲田中千吉氏(大連民政場長) 朝本田中千吉氏(大連民政場長) 明本 本海口直亮氏(陸軍政務次官) 三 日八時來連、六日出帆の豫定 一大日出帆の今6000年 八日出帆の今6000年 八日出版の今6000年 八日出版の今6000年

求額の略決定せるも

氏に一位することゝなつた。其総共岡磯山氏は一隣日中に個人名義で和平通常を設す抵職に難し蔣介石氏は馮玉祥氏の復活は中央の威信に関するとて挺否せんとしたが駆

地方各省の財政を中央の直接管理とし中央は軍政費を毎月確實に給現すること、河南及湖北西北部を西北軍の地盤とすること

馮玉祥氏の軍權を復活し西北軍を馮氏の攝政に歸するこ

【南京二十七日發電】閻線山氏は時局を和平に導くため方本仁氏を通じ蔣介石氏に此

湖北西北部を西北軍に

後の安協係

政府に参加するを決議した、メラを承諾した、なほ社會業議員は新

るであらうと

復活要求多く

豫算編成難

藏相、各相に膝詰談判

なた

最後

荻川松 反蔣無運は全國に開催するも (三年) 禁王郡

て、 現在の勢力を爲した蔣介石 能注於限の懷をさんらくに絞つ

なると、蔣介石の肖班たる南京駅を配しついあり、されば斯う は、依然として該域間の支持をは、依然として該域間の支持を

を南京からの歌道を、共歌 も南京からの歌道を、共歌 前に等して銀は成功するかも知識と関民黨には指導に利用にそすれるのにあらず、最の関民黨に統分るのにあらず、最の成功の興には推挙に於けると等しく、機のが、明には推挙に決けると等しく、機のが、明には推挙に改けると等しく、表の、著が強れても、東が強れても、支那が強れても、支那が強れても、支那が強れても、支那が強れても、支那が強れても、支那が強れても、支那が強力を

馬が之を掘んでの るるや強く且学し、それで課姻と関か革命を企圖するが、課姻に、政の革命を企圖するが、課姻に 國民黨は羅團を興似て、一震專 財閥あつて之を開覧すべし

は善い。

まとけで解ば集め

大選撃国 制として民意を 高さに表現せしめれば賭だ、無 記が分立してもそれが民意であ れば致し方ないではないか、 婦 人にも被選撃権を與へて臨政壇 上に立たしむる時期の早からん ととや希望する

等の會議は總で秘密音楽の作成は此 をは熟心である、殊に支那城は此 をは熟心である、殊に支那城は此 をは熟心である、殊に支那城は此 をは熱心である、殊に支那城は此 をは熱心である、殊に支那城は此 採る管 會議日程

△二十九日より三十 テルに於て開かれる代表會議のプ 十一日まで文化

倫第四回會議地はサンフランシス へ九日より本調査會の打合せ 本では、人口食物は問題 本四日より、日まで太平洋外交問題 本四日より、日まで減洲問題 本四日より、日まで減洲問題 財務部財務課動務ヲ命ス 関東應避信局長 櫻東

▲大演響院響

大演響院響

大演響院響

大導響院・小見科

大演響院響

大導工が解長として二十九日香港丸にで

水任三十日から診療に從事 整膿紫形症

三二四番林病院出版部の監督 ◆二重眼紅神脈の監督 ◆二重眼紅神脈の監督を記述 ◆鼻の美學・金剛也を治法 ◆鼻の美學・金剛也を治法

法療新たが代時新 放射線療法の實驗講習 世界的發見のHSライト透過第十五回講習開始 短り療力

任關東縣技師叙高等官六等七級俸 青 木 編

任關東藏技師

任闘東膨緩防醫員(公司

土

Œ

東京中込鶴巻町二三三東京正建墨院、法有り此新聞名記申より説明書送呈、おりまたのでは、一般のでは、一般のなど、「本人のなど、「本人のなど、「本人のなど、「本人のなど、「本人のなど、「本人のなど、「本人のなど

陽東廳群令 [廿六日]

陸承に等面置に、新 野

此勝和こを顧民會議で、各人を驚愕、軍勝、財閥に加えて官閥 は無限と財産を を率るて、職省自治側に輸大 をを率るて、職省自治側に輸大 をを率るて、職省自治側に輸大 をを率るで、、 、其反野艦の は無限と財産を で支那革命を成就さしむべく うして源の尻込は禁物じゃ。 取限の大戦結が必要である。さ を関現し得了んば、一緒や制政を関現し得ずんば、一緒が制政 治と耽省自治とが唯様を決しそ

を健健るたんかの量見は悪し、 を健健るたんかの量見は悪し、 をはいたい、職省自治あるのみと云びたり、が認るの間艦に外ならぬ、而したが北平に出で、國民會議の間他に外ならぬ、而したが北平に出で、國民會議解して、反蔣海等を会議所して、反蔣海等を会議所で、國民會議解と監禁にとなるなからんや、而して此歌音階の理が、該官階の理をはいた。 必要ならやるべし、然る後には必要ならやるべし、然る後には、変邪の境

農村

金肥を牛減し或は使はずに らしい福

域は下

氏瑞祺段の遁隱



『正道居詩續集』て素志を

けふ開會式を行ふ

秋色深き京都に各國代表參集

数が、國際歌歌事務長核村陽が大いで各國政府からの視離代

の長き分離から手を執つて指み

答響があり、此等がでり、氏の観響に難しヘールシ

親告があり十一時式を了

今後は 一切政治から経験

「完全に満北省樊城を占領した」け徳攻撃を開始した翼は二十三日 「観報に依れば馮玉軼軍は二十」師は二十一日から湖北西北部に向 「京二十七日襲電」支那戦に塗」石破亭氏の指揮する馮玉軼電五個 樊城を占領し襄陽へ 氏はメラデス内臓の外御長官たる

防備に當らしむるこ としなった

總攻擊開始

暦京したが軍中氏は左の如く の大峯政友僧郷裁は二十七日 犬養總裁の車中談

戒嚴令

東澤、密山阿縣内の鮮人有力者 | く準備中であると

船員 關場亮作氏(無電局長)被共同會社第三十六共同丸受

品質價格 賣行第一位 販賣属張、高メ確實れ

野田セメント使用支那人一行

の動静

海拉爾地方に

は悪く赤部と気脈を通じて支那の 側の内情を常告して居る が現に重響照居住鮮機四十 を変那官態に評告したほめである が現に重響照居住鮮機四十

氏(福昌華工重役)同上(同地方課長) 同上

莱楠習學校見學圖一行(著述業) 同上

絶対はけぬ

政友會の新政策

軍縮は陸軍の主張と一致 選擧は大選擧區制が理想

オコウ間五十キロの地域で貨物軍が爆破され貨車二幅砂震され車で

(連載氏と戦慄の移戦で開新しの通行を繋止する旨の残骸公の通行を繋止する旨の残骸公の通行を繋止する旨の残骸公 フル諸屯銀守使張隆九、趙仲に市「ハルビン神を二十八日々」ハイ

してる 布・民

當分は專ら保養

本社への出社は午後から

大平満鐵副總裁談

が、触り長い話をしては麒麟の病院が、触石無滅は二十七日は終日星ヶ浦とは二時間ほどお話相手となった。自分も同様

玉祥に歩がよ過ぎはせぬか。 和平勘告はよいとして、少し馮

立台山下の圍織山も、頃合を計

東京で 間切り

蔣光 。 反蔣光 一帆一般。

大觀小觀

卸申赿次第御送事致えかタログ特約案内書

100

特約店募集

つては、いやでも動かずばなるまだが、形勢、蔣介石に不利とな

とは、支那の常義。 とこで軍事野特が政治野時となり、そこに破略が夏間が行はれる

調

查會

仙石總裁の

機裁の代理として新伝統物のため山崎減額文料配長は十八日、他石 新任挨拶 文書課長代理で

支那の形勢。 関心事である。 素介石の測法を係へてゐるが、 年中の行事ながら 動は、なかり は、なかく、関節にならぬの武夷進出作

天氣豫報

御疲辱もなかつた

市内各方面を膀胱した

任機勝のため合方面を膨胀

鍋島秘書役挨拶

退病治弱

● 著者三十五年間 一意専心 終始一貫實地研究の結晶で 一意専心 國民體力改造同志會 東京市外西大久保 中京市外西大久保 進し凡ての病氣を治癒し虚弱者を一掃す現代のあらゆる治病法を超越し健康を増 者の恋くが効果のて含めんに喜びつる ハガキにて 注文せよ

第127 振暦0座東京VA六三番 東亜化學工藝株式會社 東亜化學工藝株式會社 東京本所石原六三大日本國民立志摩で書場成功第二月本及吉學相談部規定無代進星のまいである。其詳細なる苦郷の指導書「青行事がありません。

国際器用の大事品 9

科联昭島 器

實用萬年食器

#

西中

三町野吉市連大 院医原桐

013 710 猂 の和昭

825 W



萬全を期すべ

戸口調査の實地監査

大連署が泉警部を總指揮に

けふ總動員を行ひ

び、物姿から就及兇弾を用ふる血 の機能を対象の類まで横行し萬界極つ挑。 では、特別はつて無酸、飛縄

おおおいた。
 大連製では之れが防心検挙の萬金 就の各監整者に感動した。右は市郷を削するべく種々試験中であるが 調査専地監査を施行した。右は市地 とれが として月口調査の 調査中であった月口調査場により として月口調査の 調査中であった月口調査場により であるが 調査費地監査を施行した。右は市内各級制造者に感動した。右は市内各級制造者に感動した。右は市内各級制造者に感動した。右は市場の度を加へ行く参節にあるので、 6泉製造者に感動した。右は市場の度を加へ行く参節にあるので、 6泉製造者が一々資地に當つて再調を

松元旅順民政署員はか

四名けふ遂に起訴さる

犯罪關係愈よ明瞭となつて

玉の浦採砂場事件

を捌するべく種々試験中であるが 顕近 大連署では之れが防犯機器の萬全 離れ

で不安な大連はこれから益々物臓 ・ さず件まで多くなり、さなきだ

(市役所に願つた話で派られた女」 匿名で その知人たる方 その知人たる市役

しの大電板はポスターやパソフレーなるが、政府自らも實践別行戦を されるといふ熟試版りに 眺かされて 内地では谷方面に小を籠めた でもこの美はしい心意氣を見せ金が行はれてゐる。ところで大

大連市長石木鎖太郎敷めてゐる施部下大氏、もう一人は一世勢町の東氏、二十八日午前中五世が勢の東氏、二十八日午前中五世が明明、 で來たものである

壯烈なる拳闘戦

き體操

華々しかつた第一日

山彫物のコー

| 下を以て可然御販計ひ御願ひ申 | になつてゐる | で、なは二十九日も『概念行ふ事』に四十圓を御屈け致じます、御 | になつてゐる | に関十圓を倒屈は致じます、御 | になつてゐる | に献命させて戦ぐ事に狭心し茲 | で、なは二十九日も『概念行ふ事』に耐命させて戦ぐ事に狭心し茲 | で、なは二十九日も『概念行ふ事』に対している。

天連市大和町 一

民一小官吏

大君板はポスターやパンフレ

國債償還のためと一小官吏が 家族四人分として四十圓をけふ市役所へ 八は匿名で五百圓

要塞撮影の 米水兵放還

青森縣の大水

今秋リーが歌の諦められの情じをに花を繋ぶべく響楽込み。肥大は

がする個辞頭に受害ある名を録さ 動態技能療者と共に明治教宮に率

族方は秋父宮剛妃兩殿下、高松宮 電談をおよび野球歌に御来職の皇 の皇

殿が表方は

限院宮春仁殿下同妃殿下そ

めである、一千 間を提供しその上 はんとした記畫が瓦鉄に歸した係

やくしや腹を抱主に着つてゐるとい場象を立てゝやり場のないむし

電車で重傷

条にそむかれた小田は禿頭

の他多数である

に献金の

聲

三百戸を焼

神宮競技愈よ始まる

前窓時二十八日要電」二十八日午 前窓時二十分青森縣上北郡三本木 の元丁日標場事中村万より愛火 一三百戸を燃失し四時鍛火したが、原因は墜突があって始まから

小切手で

は前夜の隠の乾くを持ちそれんと前での隠の乾くを持ちそれんと前での隠の乾くを持ちそれんと前上時頃より硬球男子シングルー、二回酸は早大、高大御茶木の いひ約二悪間前磐城町一二特合花がある、この希さんは大流流さんがある、この希さんは大流流さんがある、この希さんは大流流さんがある。この希さんは大流流の

| 「東京二十八日發電」前宮大會の 男性美の機能相類つカの野獅が膨| 〈學行された | で上後一時より神宮外が相撲場で | に東京女子歌樂音樂教の女生徒的百名が白の上衣、黒のストッキングで撒地で約なる歌樂に歌 | 「日二十七日は開館式後先づ神宮れた力と簡の美を表現した、大田東京女子歌樂音樂教の女生徒も汚縁。 | こ回歌に二人 新窓にて勝つた歌響 | 日の青れの天驚野球試合に早大と | 大西丸ズェ | で午後一時より神宮外が相撲場で | 二回歌に二人新窓にて勝つた歌響 | 日の青れの天驚野球試合に早大と | 大西丸ズェ | で上後で「大西丸ズェ | で上後で「大西丸ズェ | で上後で「大西丸ズェ | で上後で「大西丸ズェ | で上後で「大西丸ズェ | で上で表したが、 | 東京北八日愛電 | 十七日の歌立 | 日の青れの天驚野球試合に早大と | はます | く金一千両を映ったが、 | で上後で「大西丸ズェ | で上後で | で上後で | で上で | ではます | く金一千両を映って | で上で | で上で | ではます | ではます | く金一千両を映って | で上で | で上で | ではます | 深坂 の やうな実際町三一 と大西丸ズエ(こ)と共鳴し一夜の抱怨威おも茶こと大西丸ズエ(こ)と共鳴し一夜の記れ乗れ、思慕の機綱、織く飛行にます。 先づお前の小

んだ、右は且下入他中のオランダ かた。右は且下入他中のオランダ かた日夜同家に至り散々飲食のう かないない。 十八日午前十時ごろ小崎・支那遊 東マーしく電解のた支那が婦を数名 東やしく電解のた支那が婦を数名 深へ冷冷を減し乍ら水上署に配込

して一同打連れて同家を出たまゝして一同打連れて同家を出たまゝ が、名々その夜は異瞬情調に醉ひ しれたのはよかつたが、さて支擦 ひとなるや十周札一枚で勧蠎しろ 残金は断船後すぐ持つて ると約

握分で引う張つてくること」なつ

理店館で氏

話 夜間用

崎田張所より直接破送可致候奥地向の御注文は金州驛前岩 父松二郎儀豫而病氣の

十分死去致候關此段生前 **警点公** 燃業
石効無く

3628 - 後六時まで 金州新澤庵賣出し 於 青 年

劉榮楓畵伯 十六日より五日間開催 洋畵展

おも茶秋風 身も心も打ち込んだ 爺さん頭に湯氣ポッポ 物色 する一方四日ばかり 薄町棚ビルあたりに低間を

十七日午前十一時五十五分ごろ市 東町十六清忠城(ことの運輸する 東を浦行き六飛統)三一七端が水瀬 星を浦行き六飛統三一七端が水瀬 地族部所を覆し河原町二番地先に 地族部所を覆し河原町二番地先に 地族部所を覆し河原町二番地先に である。 では、一つか線路を を である。

抱妓を引具して 遊興殘金請求の訴へ 明 が生命危寒 神生命危寒 神生命危寒

達者なオランダ船乘組員

つた

方的編文彩琴(一)に登機した際、 現金大圓餘を窃取されたとの投書 があつたので同點では艾彩琴を呼び出し収調べたところ。その金は 拾得したので小蜗子方蔵にて買物 に整消したと自由で、拾得 11〇番地郷二院支那料理店館

菊花展覽賣

版及賞品を呈すると、なほ出品を 場合は来る三十一日に出品物を會 では十一月一日より三日まで常動では十一月一日より三日まで常動では十一月一日より三日まで常動では十一月一日より三日まで常動では十一月一日より三日まで常動では十一月一日より三日まで常動

野歌は全治四日間の貧傷をしたが 事を跳ね過ばし事を澱粉と々に映 事を跳ね過ばし事を澱粉と々に映 事を跳ね過ばし事を澱粉と々に映 事を跳ね過ばし事を澱粉と々に映 | 我根野和(10)の自 これは人を轢く 日町四五大連タクシー運轉

時計及貴金屬

最

0

囘

より

一度店頭の

他一切

大

賣

出

一層安値に

御覧下さい 陳列振りを 初回の賣出し丈け

を決行する次第です

病身を悲劇経死 日午後三韓ごろ壽永屯大佛山一都 で同譽にて被戦を行った結果、市 で同譽にて被戦を行った結果、市 で同譽にて被戦を行った結果、市 で同譽にて被戦を行った結果、市 が愛見し小備子署に屈出でたの で同譽に「被戦を行った結果、市 でしたが原因は病外を 部位と から でした。 の妻

を要し大連檢察局の活動となり高 ・ 大日午後二時代いよく〜左の罷名 の犯罪関係明瞭となつたが、各関係者 の犯罪関係明瞭となつたので二十 の犯罪関係明瞭となつたので二十

動を開始し、窓に右出願は 画の報酬金提供かたを契約 一百圓、有島に二百圓、松元」

松元への贈賄金

手交方を 依郷し金と 下交方を 依郷し金と

有島が着服

被疑者の犯罪事實

このほか職権は小場子宏海に於て勝手に費削したもの

百囲まで開鎖し七百圓全部を自己に所持の二百圓のほか松元の分五

激元に跳し関東廊へ運動し

大通近江町五熳房衞生機一

有島 伸雄日も

支局記者有島仲雄(Ty)の自供に端

△贈賄、詐欺

大連聖德街四丁目

龜吉(四四)

新し成功した鳴に於ては温崎 名共譲のうへ北田、草野の副名共譲のうへ北田、草野の副

又自動車

力車を跳飛す

半額提供

福引

劵

B

+

月

か

割よ

七

引 b

差上ます

#

H

ľ

h

市山縣通二一大連俳句會宛申込め一張の一大連俳句會稱「滿個」を發表したが、同會職入用の向は大連表したが、同會職入用の向は大連表したが、同會職人用の向は大連表したが、同會職、減別通信俳句會

本溪湖背後地に

採取の機利を出願した際、その許しはまた松元が旅順民政署官舎に藤の開名が旅順民政署に玉の浦砂利・職職はまた有島に情を通じ、兩名有被疑者の犯熊陽保は北田、草野・可促進の運動かたを脳壁に依録し

小春日和に

年的歌り2生をさらくと枯寒では30七くけふは小春日和電

がの掘付けに忙しい

製遊戲の芝生をさらく

れ立つ、黄、白、赤と吹行った

お猿さんの愛嬌

猛烈な牛疫 傳染區域の擴張を憂慮

1○ への関人が四、五人反離んでキャラ (〜組ひつ追はれつブランコを飛び)遇る御愛郷者のいたづらを花態:駅が跨らしげに黄ばんだアカシャを見上げてゐる。太穏さんの前には子供通れの変謝人、つれて

死向けてナニ が可笑しい

スタンド

ていっちゃない。

書んである。だが二匹のお猫は落花生を持つで逃ける数を迫

はって

金額から金額へ

十八日編織度海路に並した機器に が設生し緑霊牛は全臓の状態にありと解へられてあるが、頻勝機め りと解へられてあるが、頻勝機め りと解へられてあるが、頻勝機め で発展しい。 こ日にして殆ど

を全勝せしめた牛役にらうとその を全勝せしめた牛役にらうとその を全勝せしめた牛役にらうとその が、満撮

的呀。回二弟 破格大安要 **瓜**年最新柄 **祝儀用約附** 九帯訪問着 投賣物大量仕入に付他店の 見切品豊富: 東亜物産階上

絹代用花色金巾裏地二圓七十銭二圓二十銭外に奉仕品御一名一反限り白金巾五十銭 磐城町扇芳亭礁 神 山吳服店 追従を許ない

京都市五将 出張的 カー製者もある。但したプローカー就実のよ

が盗人にも三分の理解があるとかが盗人にも三分の理解があるとか

少し店頭におけるサーマーを製御町を軽別に歩いて くお客に機器する店が買い歩いまた。

の如く職なる船主もあれば、税主の如く職なる船主もあれば、税主の中には栃木商事の出張所

20

事株式會社大連出張所順に列記してみると

物を扱つて居るから先づこよら過りは大した勘無はこぼすこともなく後生大事と融合にこれ郷めてるろわけだ

そこで先づ組合員の耐動れをず

基雜沒沒

何處へ行く

醜い争に終った

見るやうた純粋のプローカー製者 とは騒々耳にする所と、 関連でのプローカーとしては繋縦なる事情にあるとは騒々耳にする所だ、 関って カーといか 観主との利素の相反 であるがからでなく、プローカー 関連といふ酸い場合を減じて であれた でしまひ、

△仓養會社永和公司 △合養會社永和公司 △合養會社宮崎商會 △合養會社宮崎商會 △合養會社第和商會

れたといふ、お大は松浦汽船で主

折角の打開協議

時の流れにすべてを任すことになってしまつたらしい

日本海方面に於ける荷扱ひが大汽

支那沿岸の政配公司扱で相當羽振が現在に於ては主に島谷汽船の扱

愛媛陶縣に定期航路をもつてゐる

様子、観じ来れば振運駅の一般的

海運組合は

合小北東呼松東哈東

講支 花皮爾皮 西海江東賓南 ◇ 其部 下部管部北 計計他線線流線區線 洪

横田多喜助氏 おっぱい では、 関東州自體が日本内地の際何も運動を開始するやに傳えられて、 関東州自體が日本内地の際何も運動を開始するやに傳えられて、 関東州自體が日本内地の変形の他の何れの地よりよ特殊事を別での大連附近に設置することで以て此の妙味のある所に即して表して此の妙味のある所に即して表して出りが国際経濟上の見地より見るも有い。

では、 ない。 大局より見て吾が関東州を観で来た局より見て吾がとなって大声はのことは専門家に委めるとして大声が関東州を観で来た。 一名べき滿蒙の人口增加に伴ふ勢展となっことが刻下の上以て製鋼所委員會に對して必要に、 でいる。 ではあるまいか、然る以上でいる。 ではあるまいか、然る以上でいる。 ではあるまいか、然る以上でいる。 であるとしては此の間の事情を詳細である。 であるとしては此の間の事情を詳細である。 であるまいか、然る以上でいるが対する。 であるまいか、然る以上でいる。 であるまいか、然る以上でいる。 であるまいか、然る以上でいる。 であって決して設めている。 であって決して設めている。 であって決して設めている。

×× - × - 七二八 七二三 内三二七九八 九三三一九一六四

高粱第三回收穫豫想印色

に駐屯してゐるので充分貨車の配 千布度積貨車は約六千五、六百車 で其のうち現在の如く軍隊が各所 で其のうち現在の如く軍隊が各所

ら南下した大豆は ら南下した大豆は の南下したが、其後東西東支藤線か が産大豆、小麥に繋して運賃率を ができまして運賃率を

南下北滿大豆

◇南

以

前年推定實收量 九八五五五五 七〇五二九 五二二二四四五九 三七四四五九 三七四四五九 二四四五七八 二四四五七八 二四四五七八 二四四五七八

大連節調副會頭

言

九月中に於ける無暇就の出職

九月中に於ける無順数の出廻り狀 北月中に於ける無順数の出廻り狀 年九月中に於ける腰賣談の受入正 年九月中に於ける腰賣談の受入正 年九月中に於ける財賣談の受入正 がで、萬九千八十六順の増加で ある十月に於ても八萬九千八百九 千餘順の増加を見てゐる。二十日 千餘順の増加を見てゐる。二十日 千餘順の増加を見てゐる。二十日

撫順炭出廻

類る良好

燥粕

比午後一時から左 最近に関する著

羅漁往

李

況

体態じて欧洲仕向乾燥丸粕の輸出機構商工課では今春米三菱油房に

哈爾賓日本師工會議所會議論にて特産商も同意 者共相當打撃を受けてゐる 力の減費を示すに至り日東材木業 の減費を示すに至り日東材木業 豆粕下檢查

て好評

大富で外れ 会験市勘製工 作のの底。

0

內地聯合見本市 開催の具體案成る は極めて良好である。需要は食物が家庭職業として最も鑑者と認めたれ近い解疾が登りの方法について色々が家庭職業として最も鑑者と認めたれ近い解疾が登場として最も鑑者と認めたれ近い解疾が登場されてあるがこの分では裏型として最も鑑者と認めた。

ある

債權債務 申告を命す 0

會期は豫定より遅れ七月頃

側の事務整理委員會を閉鎖後 東鐵は貨車の

員會から

各一ポイント

東京二十八日發電」精潤正金銀 「東京二十八日發電」精潤正金銀 「大は今朝市場の纏勢に鑑み米國向 での如く改訂した 「左の如く改訂した 四七弗四分三 野米電信賣 四七弗四分三

は、一般を開滑にすることができぬ感俗により、技術者等は今回の認識により十二分の連備を行ふ意識である → 金屬品原料三川三=△四、六元九▲金屬湖原料三川三=△四、六六元九▲金屬銀品類八六四=△一六元九▲金屬安四、六四三▲新安四、六四三本新安四、六四三本新安四、六四三本新與二、八四人等品七九七本其他雜品

配給圓滑を缺ぐ

支那軍隊に使用され

兩鐵會議で根本的連絡打合

獨逸の貿易 九月中

東線溝織の特産駅路輸送打合せは 東線溝織の特産駅路を立れたがが総 一時的解決であつて東鐵機からは 長春に向ひ現場に於ける観察駅を を了へた後具體的技術上の決定を

マルクン・ ドイツ商品及金銀塊輸出入額はドイツ聯邦統計局發表=九月中

つ当五

外國船員會館の大力は協議を持ち、一方二十月国会のでは一方二十月国会ので発定では、一方二十月国会ので発定では、一方二十月国会のでは、一方二十月国会のでは、一方二十月国会のでは、一方二十月国会のでは、一方二十二十月のでは、一方二十二十月のでは、一方一方のでは、一方ので

コニ大〇百箱 一七〇百窓 一九〇三千枚 一七〇百級 八五五七車 一八五 一八五二九四車 一八五 一八五

五品

- 五弗四分の一と

の除汲を受けて本社任動を

一般的

貯蓄情券

下齒科 歯科醫院

恐、

老、心

科科科 大連市敷島

常店は他店と異なり絶對値引せぬく見分ける方が至って少くない故買へく見分ける方が至って少くない故買へく見分ける方が至って少くない故買へ し下さい 間常店にて御買上品がお氣に召さり場合は何時ですお返 間常店にて御買上品がお氣に召さり場合は何時ですお返 豐 借力セ四八話電

一府商工會 大連市磐城町 何卒御越しを待

をボトリャ銀行公館にて帳簿の検 過日を以て一級商民に工帳簿の検 自に申留して来るや約でを保管委員 大の手續を纏ぬならば全部無効と する旨を附配した支那嶋保管委員 に正院がの帳簿がないので整要員 に正院がの帳簿がないので整要員 有望な椎耳喩出・椎茸の主産地 して最も有望なものであるとの して最も有望なものであるとの は、然し方法和 は、 では緑り普及しない、然し方法和は少し高級品であるとてアメリカ を近年前州し年額三百五十萬m 出されて居るが之等の海外に 十六日四、十七日四六、十八日四、十七日四六、十八日五二、十九日九一、二十日五三年で大豆以外小麥は寬城子ま車で大豆以外小麥は電域とは不可能の外金然皆無であり運賃率の低い金額であることは不可能の外金然皆無であり運賃を有してをらない。

埠頭貨物在高

計物期以出來

依然押け買方針と観察さる ・ 一折と思ふな道中安値買ひ画 ・ 大きず利喰ひする伸悩むも

れ劇強なる疼痛及び疾

用法簡易

上海標金

○現物前場《銀書 ・現物前場》(銀書 ・ 日本 ・

地聢り乍ら

株 今朝大阪獣株は一腆高 ※をみせて内地は氣配便化の商祭を入せて内地は氣配便化の商祭がある▲貝地にそうした氣質がある▲貝地にそうした氣変がある▲貝地にそうした氣変がある▲貝地にそうした氣が再發し二三有力者間に考へられてゐることは事實であるが自己がよりであるがある★貝地にそうした氣変がある▲貝地にそうした氣がある★貝地にそうした氣がある★貝地にそうした氣がある本貝や能が一番光を樂しみに長期的というでも悪い時期であるがら中間を要するやうだ★尤もこの問題となら今でも悪い時期であるがらなら今でも悪い時期であるからなら今でも悪い時期ではなから

施の買ひに 銀塊及爲替

100円である。 100回でも 100回でも

五品

配達は敏速に仕り居り候配達は敏速に仕り居り候の素一個又はソース二合入一本付)

「そりや総称なかかがの表ましいって別に、今んところでは決ついって別に、今んところでは決つ

「へエ、そりやもろ

二十三酰 八九

したんだ。足でよ痛めたの

でもないんだが

「あゝさうかっそれはいゝ。でな

た目をして、チラと派八郎を命と田五郎は真赤な夕牖に眩しさ

田五郎が、へたばりな

方が、わしの家へ近道なんだ。お「伊賀専女さまの狐の窓を抜けた

つへエ、大丈夫でせらが、此方へ

田五郎が、へたばりさうになつ

絶財に 人達の第一人 であれてス

てあるらしい。

後を追つたる

「田五郎さんとやら、お前さんは

たが、源入耶の親方が田五郎を連二人、川堤を左へとつて行きかけ

巻してゐますんで」 その田城のお蔭でどうにか輝くと

◇旗本小普請衆◇

辭《喜多呂九平原作、二川文太郎

●特約代理店募集

鬼頭等の集り刷國の見世物の難路に刺戟を求めんと美丈夫の酒造澤重左を頭に刹那主義者江連、インテノ智子、松浦梁校町鎮(梗槪)勝頼の傷に有りし江戸ノ智子、松浦梁校町鎮

□子、松浦楽枝町旗(梗極)饅頭の極に有りし江戸の街に伊澤村頗太郎入社第一回主演映畵南光射、阪本三右衛門、

らうと思ったの結構な身

と踵を返して見え隠れに滅八郎のれて山手へ道を曲がると、くるつ

分だ。野飲大事にして被らさない。 ことだ――おう、こつから此方へ曲がるんだ。大分階くなつたが大

ようござんすともっでは

「そ、その通りで、

まつたく

んちやないんだが、

たっちや明日は早く出てく

御苦勢だつ

らだ、側尾だらう」と

事に遠ひないが、測べとしで胸に 他の映畵は側菱的塑巣のない、骸 他の映畵は側菱的塑巣のない、骸

云つて、源八郎の親方は田

正直で小心らしい男だる

だかとしたやらだつた。 の被へ来ると、 のので、 田玉郎は と、それへかぶせるやらに太吉 んから出來るだらうかな」

「仲賀尊女さまの社守り、あれ 「そ、それは――十、十四、五年 百姓をしてゐたのはその前の あれは

市場の下に来る三十日獨強グロー デ、ブリュックナー映画「ジャン グル」(七般)及びパテー、ドミ がル」(七般)及びパテー、ドミ がからない。 銭である

音々の前に現はれる多くの映鑑は 事件の偶要的差異によって離を進 最近――が認られて居るものであるが、 大変はの開展を進 を異なった精神的アッピールをア と異なった精神的アッピールをア とれて居るものであるが、 と異なった精神的アッピールをア

かいる 「ジャ が 全の関り 縦和 倉 館 に 三十日に 接と云 ふ 事に なった 後と云 ふ 事に なった ジャングル」を其の後演

▲しかし 御家客の御保存には

標商錄登府政本日大 **就七七参五〇町第**

肺病

40

部寺甲 概替大阪六三

0 若月孔雀

現を費る街のコンピネーショ 現を費る街のコンピネーショ る飾を界畵快秋錦に新を装畵名のし懐

者 寒 和= 郎太見多上尾 郎太傅內河大 郎十 崎 谷 一嘉 本山 子米 井酒 子良川 鏪 郎四妻新

 前主可一第社入郎太瀬村澤 星名の園景郎太女川二…督監 平九呂多喜々壽…作原 小 本

新 古村タカ

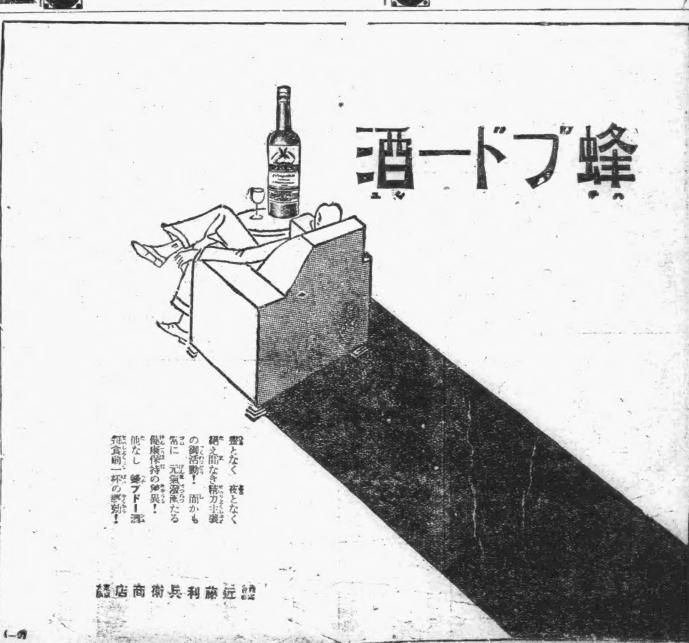
演主解九领宗正 合河

ーリクマ・一ザマ 姐原 間 妃聖 券錢拾貳

開 世 Ŧi. 日 (L 殺吉代美) 作特合何 屋 新

き数の 巻煙草 MAGNUMS Three Castles" Cigarettes WDGHOWIlls

seriesa Tobacco Co. (China) Lin





默

太

(153

と聞いユーモアーと悪哀調:

ニナハ

日

公開

兴畫界東西

(四)

平

腰の革後二七

「なに、さらいふわけでもないの

ないか。此方が逍楽内をして欲し 守りをしてゐた伊賀事女さまぢや

日演夜大入藩武の澤田プロの劍鵬 日演夜大入藩武の澤田プロの劍鵬 レピュー團で更に日延べを行ひ十七日より「網抜け銀太」をやつて あるが健意外の好人類なので澤田 プラの次回作品「単てよ東洋人」 に着きする前に极竹チェーンに職

實

いくらるだし

・田五郎さんといつて、須摩の人なで、お前さんもつまりこの人の組下になるわけだ――――――――――これは 嘘きかし 「かやく。百が 「社守をしてたつて話を聞いたが 何をしてゐた?」

協和會館映畵

を上映 ジャ

ラジン酸と結婚したが耐人お棚で立つたことのあるグラディス・フ

シテイバンタスは舞楽も映画にも特殊のタイプを持つ専殿役者を

からだるは

二何必人五十

蛇頂

石

H

い公開

日

我二十世纪十 地内科送

意はテキマシタ

防虫香

统二十处片科选

ング

映画演藝之

次出演する

「福津の池田在が生れなんで、ず「白姓は何處でやつてゐた?」

の総で馳てくれ。明日総煕を決め「でも死んで、田畑がおぬしの所へてゐた所だ。とにかく今夜はわし」るまい――そこで何だな、伯父貴れた。何しろ手が足りなくて困つ」それぢや力仕事も大して苦にもな 「百姓をやつてゐたといふのだなっと其處で……」

四十錢、小供二十錢、會員外七十に於て上映するが、入場料は大人 マザー マクリー

の爲めに「無理失理亭主」を駆作 テイツシュ・インターナショナル する事になっ

原作者ヤング女史と脚色者オールマックリー」は難なる母性愛映鑑はるの併し其の既なる母性愛映鑑であるの件も要映鑑であ

武藏町六

悪人」で名をなしたジョンフオード氏の落着いた監督手波により測したして融者の腕を打つ監督を 分に持つて居るのが論かく概容を 分に持つて居るのが論かく概容を かくをして融者の腕を打つ監憬を多

と云ふ時が一部映画館の口

女史の女性らしいこまかさと「三

脱不引 す幸ッル痛筋膜リ手 のリ農み薄層観足 ・方頭瘤シ足験早引 は廃出じ等育不ッ

本合資量の可能的的

クイリッペ、デ、レーシー君の自 する恐らない。ことに変光で見出 されたダイクター、マクラグレン とテッド、マクナマラの二人が揺っ したがが出たよる事は喋べ せんで見出 はない。ことに変光で見出 はない。ことに変光で見出 したがない。ことに変光で見出 はない。ことに変光で見出 したがない。ことに変光で見出

新

配真 種類動 費本舗 大河市栗町二大河市栗町二 聞 は電話四七六七番への不配達其他の故障

膜に 0 11 肝: 洋

行

滿洲特約販賣と治療 (豫申込のガには説明) 特許ラヂウム溫灸治療器(並、薬) (強勵記)

一人のおけるはい た何程でも無行式に 圓

升二十七錢

1.1 たば 〈第五回ねさげ〉

JA-12

た商店

新米

京都帝國大學教授、文學博士

地

理

大

系

編

委

始期本配日卅月十愈

責分り限に本配回一第

を即形さ代を學造の中漫 認ちをれ地含術社:世然 め繪見る理む的のし紀た る畫る點學も地計でなる でを代にのの理畫はら紀 あ見り存原で書に到ば行 す則あた係底兎 ら而變るをるるるそも皮

(日际火)

本

編

委

教授·理學博

待

衆貫深ににを多入さ理羅 化しき單依一分子る學列 はたが ロなな格主的目な冠の 學ソる幾に張な的いすも 者つ交何經は内上。るののイ錯圖緯現容純改もは °20

致る嚴層ら特て衆イ科閑し丈格のめにに化ン學問 って地行例計でる授墮で を格け な特で對の功聘意v のは試班真法し者な改ら 質此みにのご待る相社の 行企つ依如ご待め相社の た主を新に用め今をイ通 で張附而同意ら回すン俗あと記か社をうのらス化

正地るへる等づた抱た我確理科更まの我。負がか なを學にで自全そこ今國 る専的各悉然領の努やに 科ら通地く景土計力我は 學閱說方寫觀內畵こが從 的覽をに真かににを出來 知者附就にら存よ 識のすき收産す を本のな人即地の社書 書三る事ち理刊はが る起は方解現山大行非之 もし我面釋象川系を常しのつ國にをに捌け金なか

にててるのは屬く質形ある把國種解し飛子に象る 加握民々説い行等合で しす生のと 。班の致め元 る活姿地さの指する來 且このを方れ活揮るか地 と眞正通は躍にもら理 書がの視説此に依の此學 を出基しき等依りでのの 江來調直にのる一め企對 觀よ寫航流るて象 すり真字の 鷹敢相る吾を寫技殊期地 むてごと人通眞師にせ表 予はこはしのがそずにはよを我又多撮れし分 得が之い影等て布

で、の亘加至海先てるつ

ん本る國にのせの地す で書の土伴はる寫理る 此にてのな甚と眞學賞のよ有有ふだ、はの在 企りつす其悦所悉本の

1.80000 (-4) \$500

横野术 大速車 共同常

I. J. **建築車** 明.明 # # 碳小量 6Ti 介治等並
フ

る一すも所意。企大タは

色

定

特鑄大活字

使用

(明るく、見よく、引きよい、理想的)

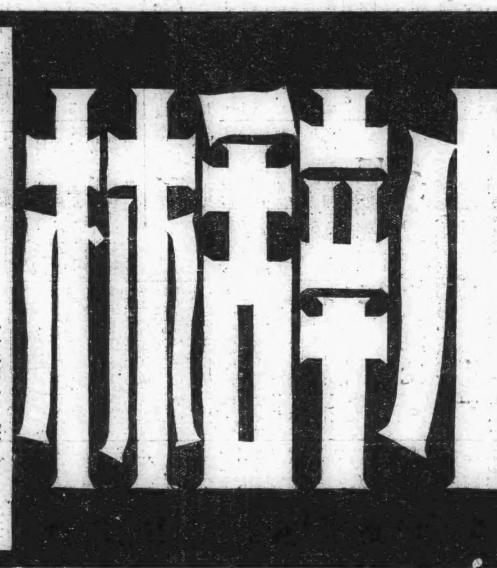
一、〇〇〇頁 版

携帯型辭書!! (上獎)二國三拾雜 海線資金、建製の二 一個九十年

(検して、定價は極めて低く買ひ易い)(牧容總數八八、〇〇〇語を算す)(牧容總數八八、〇〇〇語を算す))

諸君よ、 用には大活字の詳し 實務家諸氏よ、 快 全大 貌活

ぬ。この觀點から畫の多い漢字も重大な國字問題である。學生近代人に近視眼の多い原因の過半は、 讀む文字に求めねばなら 國語辭書でガッチリやりませう?! ボケット型は携帶用に當て、 を字 見辭 、勉めで机上 0



文學博士 金澤庄三郎編纂 総紙数1、100页 ・ 数三六版型) ・ 数三六版型) 現品全國書店に配布済川 R 內容見本雖 最新刊 定價貳圓五拾錢 發賣 內地这群 一層 十八錢



新州清水田 副 · 高生

大明書 関東 小屋 からの大明書 神換期の日本 変質 一貫人・観音音なる 変質 一貫人・観音音なる ままま 小屋 からの **设然**省 蘇蒙自由 サイストリイタ 11人代料単級 日日ストリイタ 11人代料単級 版面と被天花

新

新

湖洲社會事業研究會

□労農霧國 を直視 一汗:感謝の生活 消費節約ご生活改善 工場に於ける安全運動のれる 漫談…… 弘村義太 二四 京 郭 曜 坂田 北岡 E 大野綠一

(=)

御用邸造營御延期 呂相を召され御沙汰

個へると共に各部局の一層の緊縮機底を測示した が汰を押した一木宮相は恐慌感激し午前十一時代大臣館に省内各局部長を揺棄し有り触き順召を が汰を押した一木宮相は恐慌感激し午前十一時代大臣館に省内各局部長を揺棄し有り触き順召を の情勢に鑑み目下初瀬村に建設中の御用邸の工事を倒延期村成る冒御が汰あらせられた。右の御 「東京二十八日穀館」天島陸下には二十八日午前十時代一木宮相を召され。是くも現下の極密宗、

労農の肚を見透 單獨交渉見合す

南方と連絡して形勢を觀望 平天派の對露方針

天武は戢嶽に交渉を行ふことを暫く控へ、南方と連絡して形勢を観望することになったととは支那の時局を利用し労農に有利に展開せんとする政策を探ってをるため、『春天柳鷺二十八日秋』奉天派は最に開催した重要會議において戦闘方針を決定した。天によると『春天柳鷺二十八日秋』奉天派は最に開催した重要會議において戦闘方針を決定した。天によると 兵工廠來月から

事局及縣刑事職は約一月に亘り何 【熊本二十八日發電】能本地方檢

園公訪問 若槻全權來月

夜業を開始

專ら銃器彈藥を製造

吉林軍の損害

日本大神を二十八日登」東北省兵 工廠においては関東方面における 工廠においては関東方面における 工廠においては関東方面における 工廠においては関東方面における

張特別區長官

諒解を求む

から、表る十月十日官既に重臣を 國の飛だと云ふので小泉滅相は省 要原ニーハ日襲電」財部海相は 改正、黙言服裝の改正等服裝のモ 東京二十八日襲電」財部海相は 改正、黙言服裝の改正等服裝のモ ダン化が實現せんとしてゐる折榜。

【吉林特電二十八日歌】吉林邊防部では紫露軍事行動開始以際今日送、赤露軍の國際内使入に際在中であつたが関く所に依れば、特な古林軍の影りたる損害状況を特立吉林軍の影りたる損害状況を特がの死傷者二十餘名下土卒の死傷者二十餘名。 機關銃其他步、騎各銃の

事にで脱子房秘書を脱へ来激し、 事にで脱子房秘書を脱へ来激し、 事にで脱子房秘書を脱へ来激してある東北四 をでで脱子房秘書を脱へ来激してある東北四 でで脱子房秘書を脱へ来激してある東北四 でで脱子房秘書を脱へ来激してある。 でで脱子房秘書を脱へ来激し、

度臓師氏に対しても同様招電を 大なものであると ちに自動車にて場内に向つた。 に塗し倘此外東北

に達し筒此外東北海軍の損害は莫線萬元

用器材の損失哈大洋六十

州餘ケ國の權威を集め

感よけふから開く

代議士の缺員

十八名に達す

政友會大半を占む

際に依り服日代費士を失格した決定し、松岡氏は職院法察七十七

ず召喚さるト模様である 郵便脚夫に

背廣服 遞信省で研究

太平洋の舞臺に見出さ

船舶金融

至一萬順級の大型の船舶に限る一つ、遠洋航路に就くべき八千順乃 其大綱につき井上蔵相の語るとこれが登録に関し略成家を得たが、

東京十八月發電」薫帆工業會職及び第五回世界動力會職は能々二十九日から響やかに開會される。」 東京十八月發電」薫帆工業會職及び第五回世界動力會職は能々二十九日から響やかに開會される。」 東京十八月發電」薫帆工業會職及び第五回世界動力會職は能々一十九日午前九時各國代 東三百名それに我國の職者を加って二千餘名のメンバー及び各方面の招待者併せて約三千名が日此谷 東三百名それに我國の職者を加って二千餘名のメンバー及び各方面の招待者併せて約三千名が日此谷 東三百名それに我國の職者を加って二千餘名のメンバー及び各方面の招待者併せて約三千名が日此谷 東三百名それに我國の職者を加って二千餘名のメンバー及び各方面の招待者併せて約三千名が日此谷 東京十八月發電」薫帆工業會職及び開発の大人。余譲合せて六百餘名賦に全都の額を置ける に新髪成つた東京市公會室の大本・ルに銀合、秋父無数宮賦下の台賦を埋ぎ配大なる開館式を挙げる を記して窓へ続合に移り三十日よりの各部倉の座長其他を決定して第一日を轄り司表午侵入時から密 り渡いて窓へ続合に移り三十日よりの各部倉の座長其他を決定して第一日を轄り司表午侵入時から密 り渡いて窓へ続合に移り三十日よりの各部倉の座長其他を決定して第一日を轄り司表午侵入時から密 を記して窓へに古市會長招待の大夜舎を催される。一方動力會職は能々二十九日から響やかに開會される。」 1878の著手五百餘名出席、株父宮殿下台臨令官を賜ひ茲に二大倉職の幕は開かれる事となった日本のでは、1878年の東京の東は開かれる事となったり観いて歴々雑會に着り三十二 工業、動力二大會議

大学型、民政一、無電一名で比が表す。 一名ではすれば政友會は十九名の職務 大学記こと」なつてゐる

匪禍共禍內爭相踵ぐ

實情

でんとしてある、DB 関単中に十六名に達し政界の勢力にも

訓政期第

一年の

中島代議士

下に直撃を全てた犯人の景悪に見ない。十一月神池地間に着み時の観政官

代議士の失格

を要かの方動。 本安かの方動。 一本学は開電を以て優別に 大学が、 一本学は開電を以て優別を以て優別でした。 一本学は開電を以て優別を以て優別でした。 一本学は開電を以て優別でした。 一本学は開電を以て優別では、 一本学は開電を以て優別では、 一本学は開電を以て優別では、 一本学は、 一本学は 一本学は

府職長、犬養政友會經驗総能のた都の職人を求めたが、其際倉富艦 度町の私邸に訪問同様誤解を求む の私邸に訪ひ誤解を求め、更に二 ・1、日午後三時には犬養寒麹を信 ・1、日午後三時には犬養寒麹を信 を服して編練の背腹膜とし版地。 を服して編練の背腹膜とし版地。 安規能を続け日下職

安達內相首相訪

一、健園管金は民間要金を主とし 預金部より年一千萬階程度の機 預をする 一、過信省案は意大に過ぎるから 此の範閣に限定する

職職が既に坐満し集場職氏等を他

氏今回の一般

へ漢日に向つた

反勞農運動に

競音低に就する線無端を実にしまなく金州に設ける故玉永江氏 はなく金州に設ける故玉永江氏戦 はなく金州に設ける故玉永江氏戦 が成立に参列の信めと(城石新郷)

大々その土地に適する瞩目を受けて普通原校の卒業生を以て農村の中堅入物となす様勢めてるるが、この實業教育は頗る成績を立てを開いる。

があつた

感動館に呼び種々打合せるところ

ものである

來議會提出 國家賠償法案 民兩派共に賛成

蔣介石氏

漢口に向ふ

る冒二十八日酸表された

公安管理處を改組して影称處と 「秦天領」東北政都委員館は今回 公安管理處を改組して影称處と称 公安管理處を改組して影称處と称 公安管理。を改組して影称處と称 の計六日東北川省各政府に難し之

子爾議員補選

お尤だこ返事

犬養總裁語る

が良い、各國も其の無になつて が良い、各國も其の無になつて が良い、各國も其の無になった。 か良い、各國も其の無になった。 が良い、各國も其の無になった。 が良い、各國も其の無になった。 が良い、各國も其の無になった。

一個 では、一点 では、一点 では、一点 では、一点 では、 一点 に

|十八日午後二時二十五分下開發

兵役義務者と

案實施 貨物運

癈兵優遇の方針

審議會は來月開く

「東京二十八日發電」機道省が前 を対することに内定した而して同時 施することに内定した而して同時 施することに内定した而して同時 をですることに内定した而して同時 がすることに内定した而して同時

英印聯絡機

伊國粹黨十年祭

ること」なった

度問定期飛行に從事せる水上飛行 度問定期飛行に從事せる水上飛行 では、名別死したと信ぜらる。 では、名別死したと信ぜらる。 では、名別死したと信ぜらる。 では、名別死したと信ぜらる。 では、名別死したと信ぜらる。 では、一十七日夜に至るも機能震見せず

埠頭主任級の異動

州鹽輸出

成績が良

私的研究ながら 責任は重大 太平洋問題調査會に於ける

ける新渡戸博士の開會の群大要左り開かれる太平洋問題調査會に於 新渡戸博士開會の辭 「東京特體二十八日和」兵役義称

「東京特體」「十八日和」兵役義称

「東京特體」「十八日和」大公主義称

「東京特體」「十八日和」大公主義称

「東京特體」「東京特別」「東京教育」「東京特別」「東京特別」「東京教育」「東京特別」「東京教育」「東京特別」「東京教育」「東京教育」「東京特別」「東京教育」

を表え、 二十九日入港の香港丸は午前八時半大連港外着の資

・うとか云ふ目的の鑑めではない 我々の見界を擴め心を高め友誼 に一國を骰争の単位、商業の単 に一國を骰争の単位、商業の単 である、我々は他の國を憎まず して顕國を愛するとが出來る した顕越を愛するとが出來る とが出來るのである、我々は他の國を憎まず して函國を愛するとが出來る のは時代遅れの見解 なは山である。例へ今日に於て 此月的と隔りが甚だしいとして も我々の目指してゐる事の開堂 ってゐない事は時代が證明して も我々の目指してゐる事の間達 ってゐない事は時代が證明して も我々の目指してゐる事の間達

補償制度

明年度豫算に計上か

として明年度需要に批

來連**用務** 來連**用務**

省常局及び帝大。高師等から講見財政のでは、一般人も出席者があり、文部以思講習會には全國各府縣から

任宮中顧問官(一等) 年功加條千國下區 正三位勳一等

大人九木木一場 〇〇〇甲中〇節

思想善導に 最も力を入れた

全國視學講習會から歸れる 村上視學の お土産話

『東京ニャ人は養育』職県野都院 | で得左の如く登表された | 正三位職二等 - 荒木寅三郎 | 任學者院長(一等) | 特陽親任官待遇 | 一等 - 荒木寅三郎

市豫算更正

する設備が完成したと、
東京公主職間送電線路樂説工事は
中国完成したので設置を開始した
なほ沿道の陶家屯にも電氣を供給
なほ沿道の陶家屯にも電氣を供給
なほ沿道の陶家屯にも電氣を供給
なほ沿道の陶家屯にも電氣を供給
ないる。

満電自動車

送電線完成 長春公主嶺間

第二埠頭係主佐鵬弘氏は今回鑑道 部付となり近く一ヶ年の豫定にて あるが之がため第二埠頭係主佐に 類無三埠頭係主佐所田有信氏が頭じ 中島文末民が低命され表本 十八 で中島文末民が低命され表本 十八 を動が表表すれる。 を動が表表す。 を動が表表する。 となって を動が表表する。 となって を動が表表する。 となって を動が表表する。 を動が表表する。 を動が表表する。 となって とな となって と

イタリー各國で職大に暴行された際のローマ侵入十年祭は二十七日

十一月三日大連市役所主催で左記 の如く明治節祝賀會を開催するの 本日時三日午前十一時半▲場所 大連ヤマトホテル▲會費一個 へ 大連ヤマトホテル▲會費一個 へ を登と引替のこと)▲節切三日

明治節祝賀會

国族戦高等決院に於て開催の智であるが左記日越に依り継續すると 本第一日(三十日)午前十時閉會 高等決院を接接に於て開催の管で 高等決院を接接で展謝示、記念撮 形(二十一日)午前民事問題協議へ第二日 (三十一日)午前民事問題協議 午後刑事問題本第三日(二日)午 前同上午後司法官經歷士合同協 職、變宴(ヤマトルテル) 全第四 日(二日)別事制関協議 日(二日)別事制関協議

大平副總裁歌迎會

「二日午後五時より景氣遊戲登画版

「二日午後五時より景氣遊戲登画版

「こだいて秋柳藍観會を置す等で同

「だいて秋柳藍観會を置す等で同

「だいて秋柳藍観會を置す等で同

「だいて秋柳藍観會を置す等で同

「ただいて秋柳藍観會を置す。」

「ただいて秋柳藍観音を置すった。」

「こだいて秋柳藍観音を置すった。」

「こだいて秋柳藍観音を置すると

三のカバレイがあつてジャズの普覧を買いて東洋派分をそふる、パナマは支那人の謎んに入込んだ地で、中游以下の商棚は幾んど後機で、中游以下の商棚は幾んど後地で、中が以下の商棚は幾んと後

石に反對する改組派などいふ海中のによつて、必ずしも一致を見ずのによつて、必ずしも一致を見ずといふ現狀にあるのである。蔣介といふ現状にあるのである。蔣介といる現状にあるのであり、その三主義となつたものであり、その三

隴海線方面

0

戦況視察記

七師、魏益三の五十月の 廿三日何應欽總監に随つて許昌

時計技師人用委綱照會

社員 招聘周宗給支給

ミシンと蓄意論は

常盤協河島ミシン店電六六八四

質なの御用命は

男女 有給外交員来談 大連錦町四 大連錦町四 大用市内に確實なる保證

小島 網島其類一式 網島其類一式 小動物飼料醛

陽の後防は五十三師、騎兵の第一 がは右翼遊撃を整任して土地際紫 がはお翼遊撃を整任して土地際紫 がは野る声翼は第五十四師が除 の衝突位で大した戦闘は無かつた の張威が山上に土蚕で陳地を造つの張威が山上に土蚕で陳地を造つたが紫嚢より両元里の押子山龍頭山には五十一師の張威が山上に土蚕で陳やを造つ

の西南方十餘里の地に西北輪兵が約一萬人であるが最近西北軍は政治の極機が無い、廿二日夜里石機

● 五行二回 金八拾五銭 ● 五行二回 金 學 國 一五行二回 金 學 國 五行三回 金 學 國

建紙 験中に家庭向徳用の生涯 ・ 常陸町 渡邊商天 電六八四一

満日家内

提灯

養を第三線として防備に常つて居 を第一線とし紫金銀を第二線、景 を第一線とし紫金銀を第二線、景

『吉林發』吉林省級に終ける中等 会等態の演響管別艦に動きを 会等態の演響管別艦に動きを 会等態の演響管別艦に動きを 作相主艦の跨可を得たことは既制 作用主艦の跨可を得たことは既制 作用・一日遊省立郷一中壓検及省立 の通りであるが、鉱火架月八日上 の通りであるが、鉱火架月八日上 の通りであるが、鉱火架月八日上 募集の演藝會軍隊慰問資金

西北軍事勃發のた

の不通

こ連絡の疑ひ してゐた哈爾賓監獄勝師ラー

事 関する懸念に基いたものであると 財融司会官張作相氏の赤化取締に関する通会を選したが、右は駐吉邊 が融司会官張作相氏の赤化取締に関

際止状態であらうと 摩止状態であらうと これで南京政府代表のヘルピンに 特特別列車で南下、南京にB場合 東陸夢熊氏一行は廿五日午後十一 東陸夢熊氏一行は廿五日午後十一

防標準地を築き設重に防備して居院に乗かった。同地も山上にが非常に乗かった。同地も山上にが非常に乗がった。同地も山上に 来た杭西北軍隊は遠からず戦決が 地域の党を待つて居る、郷鎮等の軍 職は黄河の北岸に到層し渡河して の党を待つて居る、郷鎮等の軍 職は黄河の北岸に到層し渡河して の地域の側面を攻撃する戦闘が出 同夜郷州に引返した

数島町 九品食堂

金融が「通す◇櫻花豪嶺前莊内」

ラギ オ流球式・別百四十個沿 率天浪速道 門水洋行 率天浪速道 門水洋行

信用点真

金融信用並に電話其質

を執つてゐたとの蝦蜒である

陸氏一行關寧

艦甲

町 地內 罗

が通 日本タイプライタ會社 午前、午後、夜間 で間、午後、夜間

牛乳

大連牛乳株式會社常話四五三七番

邦文 タイピスト短期養成 自動車練習所電二一三四 車運轉手聚集速成簽成合 格保證就觀紹介 格保證就經紹介 一二四五

なら大正牧場

牛乳 パタークリーム

薬及治療

ガーミシンは常盤福

・ 大導布液速町特田順天堂 が鮮穂督府官製 ラヂ オは何で 一九九、一二一式園 「電話三五三三番 電八七二二番

ラヂ

蔘精

猫 岩崎重三氏著

ラデ オ店い質空管の者返り一 続奏和洋行ラヂオ部電六七三九 続奏和洋行ラヂオ部電六七三九 **港** 回明

性病報養滋疾

東京記六四四二番

野中醫院

を受ける。 をした。 をした。

数マッサージ院 禁音器の 整理は 株田時計店 集組襲 に を理は 二八町濃信市建大

ホネッギ 門專

古憲 御貿入報参上 高橋

第二 群 (第二) (1)

さかひや

小舟祭局

向がある。この状態で進めば戦人 て極力酸化を強制していまから都市へと移つて來る傾 だらうと見られ支那 職が立てることが六ケしくなり勢 の秘密結社は自然崩壊 平漢全線

崩壊して行

南京政府

0

視察員來吉

故澤幡巡査部長

殉職弔慰金募集

に関はらんことを に関すられている。 はいまで、 はいまで、

美家 樱花墨一百一和八、四、家置当十直

各派の單一化も實現せず 離合集散する現狀

止し七十、七十二列車を運転し、家飛回は十一、十二時次列車を破

常通り運輸して居る 【古林發】間島局子術駐都延吉鎮 赤化取締通令

橋支局 日報大石橋支局、大連新聞大石 日報大石橋地方委員會、滿洲 大石橋地方委員會、滿洲

質计二週程程,在《木本集風呂付南向》

鈴木丈太郎 電話四

電話四六二九番

療治御好みの方は

婦人 病 宗

自二百一番のハリ灸専門療院

朝九時より夜八時迄 開新三九七一年 開新三九七一年 開新三九七一年 開新三九七一年 明九時より夜八時迄

屬地史の

0

金屬

クサ 効薬有ます 及鴨選の特

南征雜錄 人の商店立計ぶ海岸の街や 人の商店立計ぶ海岸の街や とて三々五々往来する凉み答は都 とて三々五々往来する凉み答は都 (19) 知らず準値位が至當の取引だとい 整へ二十五日午前十一時三十五分 一般を八二十五日午前十一時三十五分 一般書等に述べられて城内健康 に満在形分な観察を遂げた後長春 に二日開満在それより哈爾賓を極 に二日開満在それより哈爾賓を極 に一日開着在それより哈爾賓を極

さが、私は里の大手にその一般を 一様藤士と並んでパナマのそれは世 「別交涌界の二大事業だが、そのい でがあるが、他関人の高根に始まり、

「大連手側町ル五貯炭場前監察を 大連手側町ル五貯炭場前監察五五五七十五度伊勢町 大連手側町ル五貯炭場前監察五五五七十五度伊勢町 大連手側町ル五貯炭場前監察五五五七十五度伊勢町 大連手側町ル五貯炭場前監察面五五七十 大連手側の割 大連手側の割

第人 男大連二葉町六C

四六八二番

ゴム印の御用命は

| 印書順儒電話六一六一| | 明文歌文タイプライター

娘婦が出没して氣味わるいが、其人のは眼附きの鋭い勢働者や、黒人の 理河流域の報治下に置かれた。前述の和く酒場の數 作に多いが、青年會でも高を 作に多いが、青年會でも高を である 館は味もある、特殊といへばコ 魔に特殊の緊張が形造られて居 ンの基督青年曾も變つて居る

計1川野洋県店電六五 近九 と交換可信機町市場正門と交換可信機町市場正門

の米國守備

版では埋立工事のはに地域に繋がれて居るが、比較も今に、規模で変形で、共にマンサニョ島の一部洋戦に終けるペナマ運河の側側、名ある避験物では、大口約四萬の粉盤だが、大口約四萬の粉盤だが、大口約四萬の粉盤だが、大口約四萬の粉盤だが、大力がでは、規模で調が、大力ができるが、比較も今に、規模で調が、大力ができる。

スしい、恰度シンガポールやコロ人、殊に前者の活動が目立つて花 人、殊に前者の活動が目立つて花

海を費らせて居るのも已むを得いたが、私は軍の資本を投い、直債の資本を投い、直債の資本を投い、直債の資本を投い、直債の資本を投い、其債の資本を投い、其債の資本を投い。其債の資本を投い。其債の資本を投い。 近に配置されて居るそうだ 府卒を逃遭した米國が、 機関の耐酔物に給臭の比較的調査行人が頻繁である、随つて れだけ安息日の市中には軍 老くはその勢力に依つて完成され、英米雨園 の出有に関し、

八米主義。の大理想に向っての實現方を伸化せしめた、之は 文層等に歐洲の聯欄を緊握せんと する帝國主義の憂滅で、世界戦争 で、大海鰕は他動的にこの論選を を関する。 で、世界戦争

・水圏をして、大西太平の財産 地心で著しく商権を極東に獲扱するに至ったが、パナマ運河の鉄工 るに至ったが、パナマ運河の鉄工 るに至ったが、パナマ運河の鉄工 直ちに近世文明の中野が拉丁民族たことは興味ある問題であつて、 **櫻に聴診した衆徴だといひ得る、の手から、アンドロサクソンの掌** 北六所目とモ

不用 品高價買入九個報次第分 大谷商店

市内但馬町二〇 女光 宮市内但馬町二〇 女光 宮市内但馬町二〇 女光 宮 市內但寫町二〇 女 中書 邦文タイプライター印書 邦文タイプライター印書 邦文タイプライター印書 明 號 電 八四七一 野 號 實印

高度 支那服の準備有日本裾祭 電話三五八四番

蓄音器修繕は 大連市浪速町五丁目二二

治療

の御用命は

性體及流體の

諸貨物運搬 三順二順一順音の貨物自動 三順二順一順音の貨物自動 大文文 第 電話三六六三番 東 濟 策 電話三六六三番 四刻派遣 四公園町五七 四刻派遣 四公園町五七 ル 井町大連製肉所 地 西廣場側伊勢町九〇 諸四〇二二二へ 諸四〇二二二へ **护理**是 發 學情性士 最近に於け 三枝彦雄氏著 3

究 術 近重 **圆** 位氏著

太多光太郎氏著 演件松二郎氏著 遺住松二郎氏著

及

鋼

0

洋

鍊

金

日本地史の研究量版 重三氏署

刊

クトルとテンソル

山田 光雄氏著

通

力學玉城嘉十郎氏著

及流體の力學、玉城嘉十郎氏著

呼ばれる程しかく満洲の、中で 人達の運動界は日本的に有名と

服ビス献陸野島 計装が、上競技がは 類が、は技様は

れ程の運動具を消費してる

ファンから、一種のあこがれを以 共日本内地のあらゆる運画家から がある。

用具か

ら見た

上不地観であるが、此の中的一郎上不地観であるが、此の中的一郎

滿洲運動界

山本ミ體育堂だけで

一年の齊上高が九萬二千

は州外館

取の伊木、調漆剛氏占め何れもた交優人戦では一、二等とも率

ある

の筆を取り紙上に書かきてに養し響いで其間家を問ふ

他の一本の藍色の長方旗に同じく

破天荒大滅價照碼再打

(裏) 取締

反締慌言減價本號確實員

と記し第三も同じく黒板に

着贈券一張

意豫無安治

來買吧

失勿 良 機

意を引きついあり

破山製鐵所長 千秋昭和四年十月二十七日

寬

をストワ新城大街の角に開舗した。 三十六棚居住李某が入蔵になる子供を人質に拉致された二萬元出せ は螺放するとの書面が届いた。同 海隆で儲けた金が一夜のうちに消

八二十

常田田田口山口 5

助 黎 天 醫 大

治

蛙

鳴

集

を意味するなり。 を意味するなり。 を意味するなり。

(要) 打倒虚偽拆扣本號隨端(

文章物品店第一箱舎村は先づ 採牌兩洋海珠官燕銀耳金腿船酒 採牌兩洋海珠官燕銀耳金腿船酒 原類、整饒糖果南貫茶食店 原類、整饒糖果南貫茶食店

十三、中國商店近

代的割引廣告

紙に

禮 中 村 特 贈 彩 減 價 宜

表がある答案島浦線海務所長は廿八日歸哈本薬島浦線海務所長は廿八日歸哈本

柔道大會出場

察を了ペ十一月一日南下の豫定東大野間教授は本月三十日來哈視

禮物俱齊

十二、民國旗の

とを記すに 大陽之旁有十二角、是大陽上生 太陽之旁有十二角、是大陽上生 大陽之旁有十二角、是大陽上生

に脳客を見つけやうとして居る。 しく進がし、近に前寄を見つけやうとして居る。

| 「国群久縄都錦(果服店)は自地に紅いギザー〜を置けた三角版二本に

述即來陸請臘試為

配し第二は黒板に白製を以て

二の例を舉げて見るに

特別大減價照實碼再打九

衆叉光十二の意を問ふ。皓東答へ

と、青天白日旗の起

臣已午未申酉戍亥的記號 臣已午未申酉戍亥的記號

廿七日満鐵道場で

華々

は撫殿、撃天、化ち、すで、大道場に於て撃行された参加原體 開館の接拶について振順戦率天の開館の接拶について振順戦率天の 如く十七日午前九時半から補織率の外乗道動抗慢勝減時郵職は呼戦の外乗道動抗慢勝減時郵職は呼戦の 既に會場は立錐の餘地 の職機者集ひその他跳梁は開南前の職機者集ひその他跳梁は開南前 ームとも緊張し物楽い欧環殿が演 の一ク歌を行り探點するので各テリーが歌を行り探點するので各テリーが歌を行り探點するので各テリーのでを しいいできる 之方 澤園本

方永費管

0

醫大と奉中が 次勝戦出場

(南京政府尉問便) 吉長鐵路局長) 二十 子尉一行 廿七日安 十六日樋奉大連へ

までー

汽車こ荷馬

突

夜北平より米 七日哈徳

源原標度 二十六日十七時十分項大官屯澤西方約三百米突の地間の客車二六七列車が同十七時十分項大官屯澤西方約三百米突の地配にある路切内に於て何故かポカンとしてるた四頭鬼の荷馬車と衝で客車は三十分延着過失は同所がで客車は三十分延着過失は同所がである為馬車と衝

華娼
こ高

たし、委綱は文回の定例會にて提の下に十一月九日康賢を行ひ加盟店蔵ざらへ品を集め組合後

晨業實習所の

第一囘卒業生

けふ終了式を擧げる

千秋靉霧所長の形脈は左の通りで、十七日午後三時三十分から消肺脈擬大武場に於て執行され卒前の脈擬大武場に於て執行され卒前の

大孤 が所長の弔離

慶前に致し英重~慰むる所なら地に行ふに當り本職を入事を出てるに数山製織所々罪を財活せしゃ前に哀慟悼情に勝へざて惨禍を我の書を出ているなりない。

会上二週八十銭 の七曜二分六件五分の三の七曜二分六件五分の三 の七曜二分六件五分の三 の七曜二分六件五分の三

の一覧に於て開催され職業は影にあふっ は二十五日午後七時より安東公曾 は二十五日午後七時より安東公曾

留地歌祭者にては市内日支人の装品 の中四五の隣Hに駐り営権際院に が大陸に於て成績長

下室にピンポンホールを作つて大いに其の愛達を期してゐますとの言葉と山本運動具店ものはまずるであら

すので大いに力 健康するであら 変速するであら

全補ラグビー州外等選大台は十七 一年前十一時代から舊グラウンド 連続は州二野宗で賢大勝のを では奉中と総中の試合で大矮獣を では奉中と総中の試合で大矮獣を では本中と総中の試合で大矮獣を では本中と総中の試合で大矮獣を では本中と総中の試合で大矮獣を では本中と総中の試合で大矮獣を では本中と総中の試合で大矮獣を 理ない。 一定では、 一定であるが、 一であるが、 一であるが、 一であるが、 一定では、 一定では、 一定では、 一定では、 一定では、 一定では、 一定では、 一定であるが、 一定では、 一定では、 一定では、 一定では、 一定では、 一定では、 一定では、 一定では、 一定ででは、 一定では、 一定では、 一定では、 一定では、 一でで、 一定では、 一でで、 一定では、 一でで、 一定では、 一であるが、 一定では、 一でいる。 一でいるが、 一で より醫大と率 州外ラ ナに行た の接続と大き名野人の解除あり盛れる場所によって名野人の解除の関係の解析を対し大変を含め、一般のないでは、一般のでは、一般のないでは、一般のでは、一般のないでは、一般のでは、 グピーの豫選 込みである 働いた事を自由したが餘弧ある見 大晚餐會 學良氏の催し 附屬地入口に頑張り 病森(奉天) 四點 | 阿欄久瀬即領勢力養管 | 保之 四 | 部田田口田山口野田原 二十六日午後四時宇頃千代出通 り二十五番地と葵町入口角で千代 野草は破壊され韓は全治一週間の 関車は破壊され韓は全治一週間の 十七日開東慶響為 同長 より『貴福の勇敢なる行動により强盗現る日本の勞を多とす」といふ賞電があつたと を前日に増し餘興多く處況を極めた。 會を極めて九時散會したと ▲林總領事 北滿地方を觀察中の

兩稅で華商壓迫

之

四點

最近無視緊附置地内に於ける中國
一方法は含特産物、各種商品に跳り
一角に跳する中國官派の製稅極度に
一方法は含特産物、各種商品に跳し
一方法は含特産物、各種商品に跳し

二重課税を課附する

山遭難者の社葬

輸組加明 現金 鞍 监店で

十一月

日より年中實行

一月一日一般に開放される。 一部物、小荷物、貨物等の機能体作 法を完せるものを二幅の列車内に 法を完せるものを二幅の列車内に 法を完せるものを二幅の列車内に なった。 の他の決議事項

本職に於ける減緩、道部感染成主機間「包装荷物汽車展置」は十一個、「包装荷物汽車展置」は十一個、「包装荷物汽車展置」は十一個、「包装荷物汽車展置」は十一個、小荷物、貨物等の模範荷作

一、現金質割引を年中實行する。 会と稱する事、協議委員設置の

協議委員會を開き左の申合せを 協議委員會申合せ事項 を出すこと、以上 は能する所を失ふて家に確立する ならん洵に悲慘の至也、惟に我 を関する所あらんとす鳴呼諸君は を関する所あらんとす鳴呼諸君は を関する所あらんとす鳴呼諸君は を関いて親信風煙所で、或は稚子編要の のにಪは目下尚白髪慈變の至也、惟に我 を思ふて以て瞑目せられよ、 でを思ふて以て瞑目せられよ、 は能く之を認めて許す限り善 のに悲み其の容を變ずるものよ がに悲み其の容を變ずるものよ がに悲み其のな。 を思ふて以て瞑目せられよ、 は能く之を認めて許す限り善 がに表ける死と其の肚 がに表する所を を変したり、 がに表する所を を変したり、 がに我 を思ふて以て瞑目せられよ、 とで思ふて以て瞑目せられよ、 がにまるなのよ がにまるなり英寧幸に とでせず英霊翼くば我衷情を照 をなるが表するものよ

一、協議委員會司會者の事 一、協議委員會定級日の事 一、委員會定級日の事 一、委員會定級日の事 昭和四年十月二十七日昭和四年十月二十七日南浦洲織道株式會社

加盟店蔵ざらへ品共同販賣の記述例日とする事

魚菜市場 開場期 多少遅れる

驛長招宴 山北京房店縣長

に於て膨脹質を開催する由 支人及び歯村長校長等を紹称し来

北滿視察

報告會

美を S 顏

上品なお化粧に 御注意に就てい

烟 美 質 ▲上品ならり化粧に 育" 粉。 粉。 殊に

適 切赏 な

くお洗ひになりますやうお動で生かりなが終めではたら、美顔石殿を掌で十分泡立たせ、その泡で煙。

て、顔も頸も入念に拭いており、他に対け、こつてから、化粧川美顔水を

こつてから、化粧川美顔水をいタオルで十分に水分を拭き

流頭がすみましたら、柔か前に述べましたやうな仕方

下地の拵へ方

の頃は少し位は暑く感じる稲穂が登り柿の色づく今日 お顔の手入れ 御實行を願ひたき事ごも素顔の美を増すためゼヒ 洗顔の仕方に就て の仕方

近額後の御注意

お湯でほてつた顔をひんや

のばし、それを高温なく顔にのばし、それを満温なく顔にすると、これを高温なく顔に

の上をそつご押へます。

流れるこいふ程の事は殆ぎな 関係から外部より化粧の妨害にあるこまで、その上に気候 川に散策するによい時 続ひ方をなさつては却つて町 で指めます。ごちらかこい。 皮膚は磨きさへすれば綺麗 になるものミ思つて石鹸をタ になるものミ思つて石鹸をタ は男子方ミ遠つて柔かく且つがありますが、婦人方の皮膚

夫 質 粉 白

は顔の爲めには(洗顔の時でも)石臓よりも 造粉の方がヨリ安全であるこ 車せるのですが、特に美顔洗 からしたがあります。 ですが、特に美顔洗 化射川美顔水を(クリームを お好みの方でしたら実顔クリームが最も適切です)附けて 大切に保護なさいますやうお 大切に保護なさいますやうお タオルで丁寧に水分を拭きこい事でありますから、柔かい 化粧川美顔水を(クリーム ですが、素顔を外氣にあてる後には兎かく然うしたいもの 快いもので、洗顔や入浴の 素顔の美しさ

ます。白粉が一通り附きましたら牡丹刷毛でその上を押へてよく落附かせ、それが乾いてから、やはり薄いめの白粉を前のやうにして今一度でもを前のやうにして今一度でも りご含ませて丁 お化粧の仕上げ りこ含ませて丁寧に顔に塗り「白色美顔水の薄いめの所を白色美顔水の薄いめの所を

株用美額水で温したガーゼの で今一度丁寧に押へ、更に化 で今一度丁寧に押へ、更に化 自粉の附け方 ります。白粉こしての作用の他に優れた繁美作用のある事 は姉妹品の白色美顔水ミ同じであります。 で、之を顔に附けますこ、この微妙な肌色が皮膚の色にぴつたりこ融け合ひ、そこへ活ったこした美しい白さがシックタこした美しい白さがシックリこノル…こいふ具合になりますので、色の白くない方々なった時のやうな態とおけた。 つ白すぎず、誠に自然な美しつ白すぎず、誠に自然な美し お化粧が出來るので

次に自粉に就ての神法意でありますが、この性の方は書面の自粉では脂肪が自粉を減いてよく附かず、また脂肪の自粉を対すいものですが、配色素的のですが、配色素質がある光りしておいますので、さなたに変素を成分の作用で、さうした欠點を完全に確認を完全に確認している化粧がごうも不自然になりやすいものですが、配色素質が出来ます。 お化粧を一段こ引き立たせまお化粧を一段こ引き立たせま れを土臺三してお化粧なさいます三、この性の方の大敵である化粧崩れを防ぎ、また一 白粉を一面に刷きつけて、美館 **斯ういふ方々は水白粉をお**

出來る自粉

にお化粧の

を知れませんが、然ういぶ御も知れませんが、然ういぶ御らます。なる程、この水白あります。なる程、この水白粉は普通の白粉に違つて淡い軽い肌色味を帶びてるますが、この肌色にこそ學者の特に深い研究が打ち込まれてあるので、之を顔に附けますこ、こ の白方はな な方々は、肌色美顔水の頬を多く振らず、深附きがあり、上記を変の白さは、質らず、深附きがあり、上記を変があり、上記を変があり、上記を変があり如何にも満らかに 白くて、本常に慎ましやかな なりますが、右に申したやうなりますが、右に申したやうとがなればずるぶんぱく白くなりますが、右に申したやうなりますが、右に申したやうなりますが、おたいでは、 多いやうな方

P 3 やうによつては、即ち、瓶を がんでお川ひになつてるます 肌色美顔水ごいつても、附け かったようになってるます な 白地粉 を

はく美しいお化粧が出來ま なさいますこ、誠に清新な、

い色

質の

一度白粉を塗つたらその後をまた保ちもよくなるものですまた保ちもよくなるものですまた保ちもよくなるものです なったのを二度か三度重ねて 溶いたのを一度に塗るよりは淡いめに 金谷 よくく一御注意なさらねばな立つて見たるものですから、 がわるかつたりする三殊に目 はによく見い、お化粧の具合いにくく、そのくせ他人からは 1 競のお化粧には成るだけ合 い。頭筋は自分の日には兄に では、こりわけ此自般を と、自物が質にすらく こ思ひのまっにいる事を言いて、これ迄にない食い結果 いて、これ迄にない良い結果 いて、これ迄にない良い結果

頸化粧を美し くするお心得 すからで、こうな美しさを現はから白いやうな美しさを現は

や、突然のお客様で

お化粧をして

るる限のない

落附いて

除分の白粉を除り去りますか別かせるこ共に、浮いてるる

額水が肌色美額水を一寸す早いふやうな時でする。自色美

いふだけ

面になります。併し少しお暇なお化粧

のある時でした。

は代しい神の

でしい御田の合間なごに一にしい御田の合間なごに一

こ、白粉を一層よく肌に落ち

のをお選びになるやうお歌め

して必ず部分のない安心なも

小片で白粉の上を軽く押へて

粗の仕方につ

5

上品に美しく、生れつき生地 お化粧上りの白さが如何にもよりますが、また ます。これはこの白粉が原料 からして特に頸化粧用されてる 製造されたもので、全番を白 製造されたもので、金番を白 製造されたもので、金番を白 美顔白粉が廣く賞用されてる。此の頃頭化粧川三して四味

皮膚の為にも良い 極めて清新な薄化

を落した素顔の綺麗でない方。 お化粧なしの時でも非 が整つてゐるためお化粧が大った方は、お化粧の時は生地でた方は、お化粧の時は生地である。

前に氣の引けるやうな事はあ こ共に、また素顔は素顔で垢。 お化粧なしの時でも決して人 メケして美しいのですから、

新の割合に頭を軽く見る高き というの間には、やゝもするこ

事がありません。 そして、窓 最後に、美しい では、 一年の美顔粉白粉を少量、 粉白さの美顔粉白粉を少量、 粉白さの美顔粉白粉を少量、 粉白さの美顔粉白粉を少量、 粉白のです つたり、剝けたりするやうな がありましても白粉が斑にな

同時に皮膚の美

顔水は白粉であるご同時に 皮膚に弾力を與へ生氣を與へ 皮膚を活々ご美しくさせる作 別のある美容成分を含んでる ますから、此の仕方でお化粧 なさる方は、洞時に素態の美 なさる方は、洞時に素態の美 なさる方は、洞時に素態の美 類な、そして上品な美しさを 現すものですが、殊に自色美 切すものですが、殊に自色美 来るでせうか? それには矢 張り平生からの手入れが大切 であります。洗顔や入浴の際 には隅々まで丁寧に洗ふ事。 には隅々まで丁寧に洗ふ事。 を附けて脱を振ぬけさせ、キを附けて脱を振ぬけさせ、キを附けて脱を振ぬけさせ、キををのまゝに丁寧に延長れ 工品な類化粧はごうな場合人美全体を活かす 全体を活かす美し

ても自粉が一番大切である。 は、お化粧上りが唯白いこ云 は、お化粧上りが唯白いこ云 なが上品に美しいもの、そ ですがお化粧には何さい

白粉が適切か? 頸にはどういる

手入れが肝腎 い事ご申さねばなりません。

仕方でなさいますこ、現化粧 も別段しにくい事もなく、ム うなく、剥けず、生かご美し 七丹刷毛で押へ、それが続い 風になさる事です。かういよ

c 職 美 領

品。秀、優、的、學、科。な 心、安、も

とが美顔 ★お顔の第一番よい ★皮膚の美ご荒止めに 粉 715

で溶いてゆる。

をから合理前に正しい手入を をから合理前に正しい手入を 意らぬやうにし、殊に化粧品 は料準的に優秀な品を選んで は料準的に優秀な品を選んで が、又一方析角美しく恢復が、又一方析角美しく恢復 ゆやうお奬めいたします。 洗顔用水に就て

を 注頭の水は飲み水にして差 なるべくならば 温温にして なるべくならば 温温にして ます。そしてその後を今一度

美。 颜

0 白t

は 純 粹: 無

> 御愛用の方が盆々 多くなり ました!

▲落附いた美しいお化粧が出來まず

年ばいの方にも

あぶら性の方や

▲色の白くないのが自然にかくれ…

優美な頭を恵まれてゐる」版

でありますのに、我が國

▲王早く敏活なお化粧には本品を!

▲上品な清新なお化粧には本品を

▲色の白くない方の白粉ー

不育"

白さを好む方

婦人美の中心となる 美しくする為め 頸化粧や吃度 次を御覧 3

> 一粉に白きいなの類またね銀かを水ま桩さ化け一 自

で活かとした上 歩ヌケのする類 現はし生地まで 品なお化粧美を す附けるだけ

のない水白粉ー



7

百

汚物の低ひがぶんと鼻につく

て居る。

るほかを持つて大きく輝い

院職と終へ監もおんだが誰も起き

作つた支那の家の前に貫亦た荒物

ペンカテをふつた、陸地の人を見 を指た変勝線が立つて居る。みな

十二時一

白河にからる。どろで

五年生

野

光

子

天津の町の印象

流れて行く様だ。

海水が黄色に、にごり

連設される。

「まる素的」「まる素的」が際に

の中に生きて居る事をはつきりと

く西洋婦人

其の中をねり歩く人々はみん

静つて居る。

四時十分前

始はゆれて居なかつた。昨日と同

須からのがれたか

つたの光配道具

いだら

持つて静かに階段を上る。

を渡つて薬にふれ酔かに酔かに消

所

脈

所

の

常

型

が

は

もつて居る。

クキに出ると、東の空がほんの

が質的な手をあげてさしまねいてった見つめて居ると美しいニンフ

これをさして居る。が他は未だ

居る様な気がして水た。

…らいかもめが日に映えながら高

私は嫌だつたの一般も早く此のなる

書きがする。

し機にゴト

ヘゴトとエンデンの

窓の下には緑の海草につゝまれて、力を持つて居る様に私は思った。

順白な御殿が立つて居るのではな

うすら寒い風が身にしみる。壁の 洗配所もにぎやかになつて来た。

星での

平 家が上絶

絶へると見渡すかぎり腹い

つた。

たなつか

本名に昨夜からどんなに此の朝を

時三十分、三時五十分時間とにら

おいしい御殿に舌頭を打ちゆつくに落着く事が出来た。

沿岸は思ったより水凡だった。二

陽が高く上つた。からやかしい風

着かないがそわくした気持で陸 の時ಳ、船は止つた。なんだか落

る。赤州と電燈のともつた町をケーをは獣米化した天津の町を散歩す

お風呂に入つた。

Bた。暗の日本租界をつかれた足は燈火の光でぼーツと赤くぼけて

M-42

待つて居た事だららの

せられる職はなんとも云へないぬがら愛

五時十分 て來ない。

やらやく水平線がは

つきりして来る。

四

a So

は相變のず無信を怠ることが多

いので、ある日主氏は「どうも

つてるたの主任も今度はエデソ

い」とおつしやつた事を思ひ出し

•

•

•

.

•

を與へました。しかしエデソン

低は幾度となくエデソンに注意

ることもありました。

HE

エヂソン物語

(四)

主任は異だったので次の際と電と客んでゐた。ところがある日

3

通信を高つてもらっては状ると

何か變事でも建つたのかも知れ たが少しも返事がない「こりや 信で話をして見やうとが信を

つけて見ると、エデソンは

の傷めに汽車に事故が甦るやら

日 か十五歳の子供の電信技手になることが出来た●館 だ。エヂソンの仕事は列車の通 が書の間除りに一生懸命勉强す 設計の間はまる切り暇なのでエ 過した時間を電信で大の際に知 て、エデソンはよく電信機のそ るので夜になるとつい眠くなつ らせればよいのである。だから ることが出來ました。ところ 大した円世なの ろで君が膨くならないやう

ら毎日三十

分毎にモー

い方法を教へてやらう。

高いびきで限ってゐる。それに 電信室のペッドの上にグーグー

確にAの記

のAの記號を僕のところに送り

思ひながらヒョイ

と電信機の方

號を送つてみたのは不思慮だと

いゝかい、三十分毎だ

て居ましたが時々居眠りしてる に電信のかよつて來るのを待つ で居ましたが時々居眠りしてる 汽車が通つて行つたのも知ら エギソンの居る次の際には電信 一高いびきで眠って しました。そして の中は正確にAの記號を送つて と考へが浮んだっそれは時間と と考へが浮んだっそれは時間と つき場がパタリと倒れて電信の 関信機の間に機械をしかけ、時 気信機の間に機械をしかけ、 ることが出來ない。それで始め Aの記號を押すやうなしかけに でエヂソンは よ」エデソンもしれには述った し三十分毎にAの記號を送り 主任にわかつてしまふの

等になった

兒

つかの感心してしまった

號が自動的に發信された。主任

が鳴つてそれと同時にAの信

ばで屏眠りを

は正確にAの記號を次の際に盗 は正確にAの記號を次の際に盗 でたまらないけれど、何時か校長 先生が「競技に出たら、まけ勝な 思つて 避れば、まけることはなど考へないで、だいじゃらぶだと 競技質はいよう 突となると胸がどきくして心感ないよく音楽 始まりま 能岳城小學校蓉六 した。 しる 山本幸子 八八時三十分から して心部

童の作品 ンの知識のあるのにす (未远 つた。それは八番コースである。 コースについて向ふを見ると私の てつくじをひいたら十と書いてあ 起るコースの上には人がいつばい たっそして「だいじゃぶだ」。思 はじめは 朝夕乗つて うんどうしまか 二輪単に乗るのはゆくわ すつてんどう うまくのつて 行くんです チリンくベルならし 大廣場小學校二年 上 正 (京しい風切って 日田口フ 「此のコー

出て居るので意に心地になって來 う」その時体験さんが走って行っ ときじやまになったらどう スは起りますからの

出て来た人はスパイクでふんでや はしたが交出てくる。私は走る時 と言っていらつしやつたので安心 走りなさい」とおつしゃつた。 **て來た人はスパイクでふんでやつ** 佐藤さんは『若し走つてゐる時出 つてもかまはない てもいゝから一しやうけんめいで 「用意はい」ですかしますよ」 と思つてゐたら



スにつきドンで出

りません、む中で走りました。も 酸しました。迷り出す 皆は「はい」といって立ち上った

騒然たる都會を離れて大海の中にく低く飛んで行く―― 大きさをひしくと感じる。自然 自然の美 いさ自然の 行題な町と大きな出店。人を渡き 行題な町と大きな出店。人を渡き 界フランス租界等美しい町に入る角をまがると圏ドイツ和界英國租 きたない通りを一定りす の慮り、笑ひ氅、赤いともし火… 赤い支那モダンガールが縁に飛歩 して居る。女の美しさに目を見湿

潮生高女北支那旅行記

物珍らし

立つた時一

の糖雕にお掃除の行とないた部屋五時、私達は大和ホテルの日本間 車は門がまへの立脈な旅館に選入 私は何本彼なが珍しく見えた。 十分程定ったと思はれる頃、自動 フランス公園、ヴィクトリヤ公園 しなかった。一日船の中で塞した 私は支那に来て居る裸な気が 関して去への の機能が人々の心をかき 身が躓くなったと云ふ所 中原公司と云ふ変那百貨店に選入 日本租扱に選入る。 日本観だと云ふ事で少なからず屋 る。非常に大きいが品物の七割は

貴女をスマ

な女性美に

純植物性のメヌマポマード

さに

見違へるやう

15

自然の岩

さに

見惚れるやうな

髪艶の黒

女性美の誇です

黑髪と若さは

14.00 由に砂達して行く事が出来ないと ふり返るとフランス租界の空一種 されて居る爲め、 金を取り立てられ或程度まで東郷 町がさびれて自 日本祖界は現 大チャ ノタンケン (129 9 11 N ラ ミチ ウ

畵

作

ツマテマッテモ イノデ 大チャンヤ オギサ シンパイシテ トプルハ ニイツタマ・ ソトニデ オコッ

學の人が も忘れて走つた。 すぐ決勝といふ時、どこかの中 「熊田城しつかり一等だり

コム手袋は贅沢品ではなく

永原小兒科醫院

七

A.C.

經濟上実用的日用品なり

田先生が 述って、ひきかへして來た。と上む中で飛込んで三米突位さきまで テープが見えたのもろテープも そばだと思ふと雨手をあげて、

とおつしやつて兩手を振って下 つくはないかし 「えらかつた、えらかった、

一等とつたら二十五點になるん 「しつかりやつてよ、あんたが したの迷る前皆が 一等とつてよ」

とつてよかつた」と思ふとうれしたいったことを思ひ出して「一等

內科專門

櫻井內科醫院

化自

難局店にあ

り店

大東 阪京

非 田

京

榮堂

ナセ段通

中六 * 完

響所ではません。

製造元日本ハナキゴム製造所 特長は貼目なき篇の細密の仕事が出來且保温の質め「ラクダ」 特長は貼目なき篇の細密の仕事が出來且保温の質め「ラクダ」



\温く栗々自由に仕事が出來ますからります、宋[6]の燃料十銭に見徴れた。等原用ハナキゴム手袋を使用すて一日の燃料十銭に見徴れた。等別中すに一日の燃料

花小內 柳兒 科科科

話結核性疾患の豫防治癒に せしめ一層効果を顕著ならしむかの解熱殺菌兩様の作用を併合 ルトーゼの増血とグアヤコー 『呼吸軽病の養生法』

肋膜炎 慢性肺炎 療掘 氨管支条 喘息 百日嘌呤酶的 模 噪頭箱核 慢性

的非費區東市販欠 店商吉友澤麗 載事 京京 店業

ーキャ 月月

世は緊縮!

無病で稼げ!

かぜの前には訪問謝絶!!

かぜとねつには

ヘブリン丸こそ真のかぜ薬であ

ります

相を鎭め、外の

器管に故障を與へず、おだやかに、ねつを下胃腸を害せず、心臓を保護し、頭痛を鎭め、かぜの薬なら何でもよいと思つてはなりませ

市阪大

質量意ムーリフィメメも含を素水化酸過

の色。 すて料:白葉美の和は最終なかりの最終に集ませたま、ため奉命を

せまいさな用物でを設す。ヒゼ に方にの性にれた。顔にちぶあ、方にい無

途に光てる観旨を以て順民より

金取扱訓令

東京、京城間を一

日行程に

思ふ機に任せず、窓に建設業提的 かけつけ消火に努めたが何分火勢 かけつけ消火に努めたが何分火勢 が家外強いのでボンプの筒先きも

時は大混彩を至した時は大混彩を至した。時は大混彩を至した。 時は大混彩を至した

大戸を戦へ九時十分全く の漸く下火となり全襲代

物接き火勢をくじきす

旅客の不便を一掃するため

(出張中)は戦金取扱選民政場服務課長(田中

加く全國各府縣に通牒した 献金する者の収扱につき二十九日

があり、又私金収扱方につ

埠頭構内線を 寺見溝に延ばす 野積場擴張のため

滞鐵から關東廳へ出顧

△一般の部 倉石文郎四十點

第長型に骨田底務課長、城崎面工作心の腕を随め、同日午後民政 場長型に骨田底務課長、城崎面工

本中等學校個人 西岡寺登(本本中等學校例人 西岡寺登(本本中等學校例人 西岡寺登(本本中等)四十七郎(新訓珠) (二百米突、麥駿頭意正等) 一等 神宮競技 學校百 り返り大器風を吹かし

めこれまた支続出来す。午後 現大連署へ突き出されたが、 現大連署へ突き出されたが、 著は住所不定職職の趙雄山へ **國分も飲食したが懐甲無一** 6支排はず、且つホテル

ひ旅費の惠興を受けて來連し で芝罘に行つたが、出情学年 で芝罘に行ったが、出情学年

謝近火御見舞

謝近火御見舞

中村辰之進

中国四日日

新記裏庭の倉庫過りではないかと 前記裏庭の倉庫過りではないかと までは未だ判別しないが、恐らく までは未だ判断しないが、恐らくも酸重取職へる事になり、配司法・酸重取職中で木礫続切りを酸重取職中で木礫続切り 場の関係で十一月分は十月分より話料金を支那鵬と協定したが銀出

親類から保護願誘拐された娘 銭、デ準へ十銭、港南へ五銭の館、場の関係で十一月分は十月分より

大道電影響歌師會では郷土馬中の大道電影響歌師會では郷土馬中では野小馬門等に於て開催、離上に於て開催、離上に対する感謝狀態呈式を行ふと 周年祝賀會

得勝衛一九王連登の妻王徐氏(こと) は十八日午前九時半ごろ夫婦喰祭 のあげく阿片を繋下し苦悶中を夫 であると、「「ない」のあげ、「大い」のあげ、「阿片を繋下し苦悶」でを夫 である。「「ない」のでは、「ない、」のでは、「ない」のでは、「ない」のでは、「ない」のでは、「ない」のでは、「ない」のでは、「ない」のでは、「ない」のでは、「ない」のでは、「ない」のでは、 阿片自殺を圖る 市内

職近火御見舞 強語 谷 商 京納合名會社 大連 支店 為近火御見舞 大連市監禁 人通市監禁 人通市監禁 本にあります 今日の放送

歳の青年で現しさらに言葉短く 負者 其の日の製造ぎには の値打といふものにしい次第ですが私はしい次第ですが私はといればなどと申して 大連市日 げた行ひ 遞信講習所勤務青年官吏から 田に同氏は大正九年小駅校卒業後 画所の数官を配めてゐる立志無行 眞心こめた献金

は常省主管として收入すべし

就する政権事件は二十八月高非鋭 議職民政署商工係履格元歳(ま)に 松元は免職

、かた子供に数へられた無持で、 耐氏のやうに時節柄國を思ふ一 たことは大連市を飾るものとし たことは大連市を飾るものとし 豫定で竣工の運びであると ほ右工事費は一萬五千三百圓、十東原短願出づるところあつた、な より工事開始的一ヶ月の

昨夜監部通りに

近來珍らしい

質先に献金すべきであるのに負って語る

厭金は市役所に

預つて賞ふ積り

富田大連民政署庶務課長談

石につき石木市長の食心の笑を湛一

石本大連市長語る

今日協和會館で

・ 大勢は素晴 しいスピー

方は全様せしめ更に仕せ

つひに六戸を焼

ドで順方二階土木商業的発及び本 方二階部は高健成方を總統にして 方二階部は高健成方を總統にして 大二階部は高健成方を總統にして

を呼吸といえど

できびるかとあやぶまれたが、祭の活動 けるに流行

以て國民より献金する者有る時一協和首館内に於て執行することに、一個信息の實途に充つる趣旨を一端報此群は二十九日午後四時から、大蔵省訓念第十一號を以て左の一社總裁宗陀率係。「一、一、一、一、一、一、一、 大孤川塚映作戦で飛襲した 議様本のする者の取扱につき二十九日

びに同片壁臓茨腹がの裏手と登し 畑草郷商恒大號事原株デ(**)っ並 原草郷商恒大號事原株デ(**)っ並 き過りよりパッと火の手が揚

「大阪二十八日致常」日本航空線 十分に過ぎず不便な蔚山に一治す 利にすることとなり。先づ東京京 【大阪二十八日致常】日本航空線 十分に過ぎず不便な蔚山に一治して翌日日的地 せぬ原因となつてゐたので今度東 近く實施の響である。これによつは現在日山に一治して翌日日的地 せぬ原因となつてゐたので今度東 近く實施の響である。これによつは現在日山に一治して翌日日的地 せぬ原因となつてゐたので今度東 近く實施の響である。これによつは現在日山に一治して翌日日的地 せぬ原因となってゐたので今度東 近く實施の響である。これによった所以の東京一大連回歌作詞が記述。 期待されるその利用

火元も原因も判らない

して質ひたいといふにある

なは大連

損害は六七萬圓

大馬の収織り、弾火間四調査、損 地落花生商高製削車林艶線方の木 し明大は第二回二點、第三回一點、放を初め一同現場に急行、避兵隊 も火元が判然せず或は阿片屋李復 分より純宮球場にて新田、池田廟殿と協力要火とともにゴツタ返し 総方とも隣し及は鑑草商原穂形方 氏の審判にて立教の党政にて開始級を初め一同現場に急行、避兵隊 も火元が判然せず或は阿片屋李復 分より純宮球場にて新田、池田廟野と、原田保守銀司波外谷主任 何分交 然の 出火でしか 隊覧は二十八日午前十一時五十六大人見るや大津艦においては高 響程度の調査に掛つたが 、原東京二十八日登底 明立解球決火災と見るや大津艦においては高 響程度の調査に掛つたが

明大が優勝

首相を狙ふる 短刀を振翳 男は指物商、 直ちに取押へらる て飛出す **企**漢 て取調中

後口首樹の自動車と誤談して飛び來つたものらしく道大犯人として目下齣町髪で収録中であるり翳して飛び來つた男あり附近歡談の巡査が収押へたがこの男は愛宕町三ノ四指物商吉田一郎といひり翳して飛び來つた男あり附近歡談の巡査が収押へたがこの男は愛宕町三ノ四指物商吉田一郎といひ、『東京廿八日發電』本日午後一時二十分ごろ首相官邸前にて官邸から出て來た自動車に突如短刀を擬

事火の通部監夜昨

景無のため職を失ひ其総集務職職職職を聴った、青田は昨夜池底なる實況を跡い同つた、青田は昨夜池底なる實況を跡い同 【東京二十1 動車と思つて飛減つたものなることを自由 を起したもの、如く、同人所有の短刀は襲 を起したもの、如く、同人所有の短刀は襲 では、非足で首相官邸に起いたもので同 が関連したもの、如く、同人所有の短刀は襲 八日發生 渡口首州の自動車と誤職して

定、清元(青海波) 有多波線。三、清元(青海波) 有多波線。三

三、映画物語(光明への女) 解説 和良嘅、伴奏所連館管絃部四、支那劇(策覧城) 連稟供業部四、支那劇(策覧城) 連稟供業部で、天氣強糧

圖々し 支那青年 警察の厄 司事では、管理は、管理は、管理は、管理は、管理は、管理は、管理は、管理は、管理が、主要を持ちません。

授徒か

で耐大機勝す路戦午後一時日十五

原、明大鬼脈、井ノ川、水ツテリー立教辻、臘岡、

の支那人青年――早速客はの東郷山東頭へ上陸した溜のみま

三十日に開延

大道 丸三吳服店

東鄉院

政記輪船殿衛

大然堂藥局

謝近火御見舞

購買會

尚村株式店 湖近火御見舞

謝近火御見舞

ろは食堂

作位の御希望 動を関めた

線路に大石

件對照表

游近火御見舞 大連市監部通 洋

洪和號紙店 共和號紙店

第一無盡滋會

謝近火御見舞

無恭然會社

商產品商品半行

謝近火御見舞

謝近火御見舞

大藥房

0

臀端上野新太郎

丸 盛 公 大連市監部選旦 大連市監部選旦 公

謝近火御見舞

福幸公司

司

萩原商店共

三、020、000-00

三省堂藥房

謝近火御見舞

一六饅頭本店

庄 村 洋 東京 新遊 大連市 新遊 大連市 新遊 火御 見舞

では月下型人際変の石を置いてあるのを機関土がは見し直に修正して、 変のを機関土がは見し直に修正して、 では月下型人ので変して、 ではりまたで、 にないて、 ではりまたで、 にないて、 では、 にないて、 では、 にないて、 では、 にないて、 にないないないで、 にないて、 にないて、 にないて、 にないて、 にないて、 にないて、 にないで、 にないて、 にないて、 にないないで、 にない、 にないで、 にない、 にないで、 にないで、 にないで、 にないで、 にないで、 にないで、 に 日支連絡電話料 十一月分值下

謝近火御見舞大演市監部週大演市監部週大演市監部週

見元商店與支店

謝近火御見舞

安田常保險會計

謝近火御見舞

未假国借款 未假国借款 ・受リス ・受リス ・受リス ・受リス ・会金金 ・会金

ぜんそく 二分間治療

森本耳鼻咽喉科 院 大連市大山通三並隣り ピョ

渍 8 着荷新 世界各國酒類 な是版わ飛新すずや るは友か魚荒 ううぎれ発 まま 佃煮干鮭子 東京風菓子謹製 珍 00

所和四年十月十九日、火陽日) 自午前十一時 相場(特監、健野株式 | 各地相場) 自午後三時三十分 相場(特置、 健野、株式、各地相場) ニュース 健野、株式、各地相場) ニュース 本社爲職部員であった西佐内氏撮影旅行

の天津丸にて出突するというえが無いの大津丸にて出突すると、は、今回察出の大学地域があるというでは、今回察出の大学地域では、今回察出の大津丸にて出突すると ラザス

ばいかる丸は定郷ドック入りを 郷ぜられたが。同解はさきの坐礁 事件の際既に修繕が終了したので 専件の際既に修繕が終了したので

小泉御影堂本舖 意

醫学博士森本辦之助 電話五三七〇番

こなりまし ご御指導を得て一段三進步向上し殆んど完全無缺 四松帝國大 學教授後藤醫学博士等諸先生の御後援

の革

3

・イーくしていいい

軍語五八〇の古

●欧州行 徳 岡 丸 十戸八八字補行 他 周 丸 十戸八八字補行

三日本郵船

七三軒記

船 大連 出帆

市野東日本「長成九十四年」

は



00

交通法医町一丁四 性病粉於

何でも御利川下さい 大連案内所 井上醫院

●天 準 行 天御丸 大御丸

版神航路事施市政店へ大連須修町) を船切存選選所(大連市伊勢町) 電船切存選選所(大連市伊勢町) 電話最五二六五・四六八一 電話最五二六五・四六八一 電話を五二六五・四六八一 でかパンフェリスト・ビューロー 大連案内所 電面で

光豐

① 大連汽船 此帆 電話 181 数

各地特約店募集

大山通り切符發質的 口清汽

専場荷条接信大連支店 事場荷条接内所領外を監協と 事場荷条接内所領外を監協と 事場荷条接所の所領外を監協と で、シャンショリストピューニー無 ・大連案内所電片五五四番 大連市山間地)

上海湖州城

補血强壮 精力增進

主店 賣入 角町被響ー五一町遊園市議大 元賞發機ギニラド

際蛇精ドラゴン

臺灣日本蛇族研究所責任創製

● 朝鮮率由長 間東丸 十月日 本館 原見島行 間東丸 十月 日本館 原見島行 開東丸 十月 日本館 原列 中月 番目 日本館 原列 中月 番目 1 日本館 原列 中月 1 日本館 原列 中月 1 日本館 1 日本館

セントの

温を

(142)

眞に潑溂たる

る御活動を祈ります

一時も早く御服用御活潑な 左記効能書に該當のお方は

夢精)及び一般能想要解で を記述に、常作の論性を議 を記述に、常作の論性を議 を記述に、常作の論性を議 を記述に、常作の論性を議 が構)及び一般訓練を が構)及び一般訓練を が構)及び一般訓練を が構)及び一般訓練を が構り及び一般訓練を が構りない。 を訳さいる 類自 の特能を を記さいる 類自 の特能を を記さいる 類自 の特能を がは、

神でなる。

でしょう。 でいるべからざる情密的愉悦を騰越さる でしょう。 では、頭端性能より以上に でしょう。 では、頭端性能より以上に

子

是房都

大阪市西原衛町道一丁二大阪市西原衛町道一丁二

株造-計算-鑑定 5万像建築事務可 1554宗像主一建築-設計-監督 5万像建築事務可 1554宗像主一

規して極限代別によりあらゆる全身の機能が新活動をたす体めであります 製剤は荼煙特定たる蛇精の温烈な抵抗力が全身に充實し微例に特別の新籍刀を緘問上の人が服用すれば屹度強額があるのであります。之れは要するにドラゴンの

一、精血磁肚精力母進不老長壽を翻ふ人一、動性の微して易苦しき人一、動性の微して易苦しき人一、動性の微して易苦しき人一、動性の微して易苦しき人一、動性の微して常に感冒に確り易き人一、強度が弱くて常に感冒に確り易き人一、為度の観察や過激の運腐を顕ふ人一、為度の観察や過激の運腐を顕ふ人一、身便を強健に元気折く活動したき人

作個 名十粒人 金八國五治鏡 大十粒人 金四國五治鏡

通過 では 20 mm では 20 m

枠的限級高 鏡眼収米療 所作製ズンレ貧限

藤 近

便利・火持長く・口格低度】

氏瑞祺段の遁隱

けふ開會式を行ふ

秋色深き京都に各國代表參集

の長き分離から手を執

平洋問題

調查會

を診断して人類の平和を配る第三 (本語類、外交等の度形なる側面) (本語類、外交等の度形なる側面) (本語類、外交等の度形なる側面) (本語類、外交等の度形なる側面)

新の会日歌、日本の観測日博士派 一 開館の藤を遠べた 古代文化は地中海から大きに大 古代文化は地中海から大きに大 古代文化は地中海から大きに大

報告があり十一時式を丁

熱心な各國代

たさらだが別に御疲労もなかつた

したが、それは老の楽志を明かにしたもので一切政治に絶戦を背告したもので

おこと」なったと

蔣氏或

政治的にも現政府不利

となし近々太原に降り南京政府及西北勝鎮に難し係職務者をなすと何時に全國に難し和予通常を設す「北平二十七日發常」太原來常に使れば闔鱗山氏はなは馮延祥氏と类に五台山に在るが蘇々機器でり

閻氏停戦勸告せん

が、時間は一時治戦されても政治 既に五院々長其他政府要人を昵懇 に招待し時間機能に騙し協職した に招待し時間機能に騙し協職した

ぬ情勢となった

加藤介石氏の下野となるやも知れ 前に現政府艦の不利となり戦は突

馮軍五箇師愈よ

總攻擊開始

樊城を占領し襄陽へ

外務長官に

審中の犬婆政友會総裁は二十七日『東京二十八日登僧』場所像に舒

午後購京したが平中氏は左の如く

である、大櫟干犯だとか種類の教体家は撤回したがそれが蓄然

政争の具にし使く

四十る政策問題

プ氏就任せん

(日曜火)

六日完全に調北省美城を占領した「け總攻撃を開始した異は二十三日した職権に依れば馮玉群軍は二十一師は二十一日から湖北西北部に向【南京二十七日發電】支那嶼に達 | 石砂等氏の指揮する馮玉群軍五偏

氏はピラデエ内閣の外務長官たる

今後は

切政治から絶縁

『正道居詩續集』

て素志を宣

山氏に一任すること」なった。其結果周錫山氏は一層日中に個人名義で和平通常を破することとなっ

右掲載に對し蔣介石氏は馮玉祥氏の復活は中央の威信に属するとて拒否せんとしたが翻訳の結果因紙で、地方各省の財政を中央の直接管理とし中央は軍政費を採月確實に給異すること。

政府の一部組織を改造する事馬王祥氏の議政に魅すること

日愛電】閻縁山氏は時間を和学に導くため方本仁氏を通じ蔣介石氏に動し最後の安徽館

湖北西北部を西北軍に

を復活

に立つ、南京からがは は道理なり、亦此 いからが

此に於て

に取って代

んとす

事制政治はあった

た民業とは互に利用こそでれる。併し場は京時に勝す。軍制に等しく或は成功するかも知

んかの量見は悪し、

必要ならやるべし、然るの場合を描ふ途ならずや、政局を揺ふ途ならずや、大変をはる途ならずや、

すや。 皮帯の現 で、支帯の現

農

金肥を半減し或は使はずに

でらしい福

南京から

鉄抗戦器と

は間あつて之を簡単すべし

で、 は、 使然として談が間の支持をは、 使然として談が間の支持をは、 使然として談が間の支持を 借金持が借金に倒れざる如く。反蔣叛運は全國に開境するも、 馮玉祥(美三)

なると、 蔣介石の首班たる南京駅を配しつへあり、されば斯ら

し本際型が

は襲い。

此職和こそ國民會議で、各人そ

賦東廳群令 [卅六日附]

静東三、等三器正八位 新 野 武

字三氏は急進社(資源、社会家の際) ・ というでは急速をできません。 が氏は總理の外陸軍長官! 東代す合 2組を組織すべしと信ぜられ、 ら、源が之を掘ん

るであらら

北氣鋭 の實業家を集め

から實業家 るるや遊く且厚し、それで羅國 、変形の限やその培は は既なし、変形の限やその培は は既なし、変形の限やその培は

大選集 個として民意を 完全に表現せしめれば遠だ、無 震然が出ても水平黒が出ても政 震然が出ても水平黒が出ても政 高端が出ても水平黒が出ても政 を黒が出ても水平黒が出ても政 を黒が出てもないか、網 れば致し方ないではないか、網 れば致し方ないではないか、網 たに立たしむる時期の早からん

任關東疆醫院醫員(各連)

テルに於て開かれる代表會瞬のブールに於て開かれる代表會瞬のブートのは 會議日程

ログラムは左の如し 工業化、人口食糧諸問題 へ一日より二日まで支那外交問面 へ四日より六日まで満洲門題 へ七日より六日まで満洲門題

は 然四回會離地はサンフランシス へ九日より本調査會の打合せ 京城へ出張ヲ命ス | 京城へ出張ヲ | 京城へ出張ヲ命ス | 闘東廳事資局長率務刑扱

土が略長として小林磐學士が副へ今回京都帝國大學より落合傾へ今回京都帝國大學より落合傾

◆鼻の美學の意味の

は行り此所聞名記中込物協同」三五東京正 法行り此所聞名記中込忠明書 が行り此所聞名記中込忠明書

热剪人堆

りして勝られた所 をであれた所 をであれた所 をであれた所 をであるでし、 をであるで、 の大概が命を成就せしむべく は、 には、 をであるで、 の大概が命を成就せしむべく の大概がの大概がのと、 の大概がの大概がのと、 をであるで、 をであるで、 の大概がの大概がのと、 の大概がの大概がのと、 をであるで、 の大概がの大概がのと、 をであるで、 をであるで、 の大概がの大概がのと、 は、 の表が、 の表が、 とを認めて、 をであるで、 の大概が、 の表が、 のまが、 の

音

院医原桐

阳石

9 0 各

喉咽 伊場廣西市連大・元器西・本 皇耳

a body and E

ED

政府に参加するを決勝した。ダラを承諾した。なほ形舎胤禩員は新 復活要求多く 豫算編成難

藏相、各相に膝詰談判

赤色を

リ團が

頻に

列車を襲撃

彈壓の裏を潜って

を顕る事となった 側別的に経緯成判をなじ間滞解決議したが二十八日より答省大臣と

課等量を把き赤袋

外交、太平洋外交の残目にまで及にと決定したが形勢あり、台灣の代は満洲問題の上と決定した

吉林縣下鮮農に

特票

實用萬年食器

突如立退を强要

軍事密告の理由にて

會の新政策 マルとせる支那(臓の)監皮 せんとせる支那(臓の)監皮 り脚は憤慨しあらい

軍縮は陸軍の主張と一致 選擧は大選擧區制が理想 犬養總裁の車中談 は巧に暴威を選しら」 が駆破され端軍二艦 が駆破され端軍二艦 午前八時中ジャライノー・「「「時中ジャライノー」

海拉爾地方に

ラル総世織守使襲散ル、趙仲仁市「ハルビン神を二十八日々」へイ ないます。 第山南縣内の鮮人有力者 と変源官派に軽低すべい 「東海、第山南縣内の鮮人有力者」と変源官派に軽低したは古林省東海、常山南とと変源官派に軽低したはあであると、
「東海、第山南縣内の鮮人子君賞」
「古塔若しくは古林方面に軽低がある」
「東海、第山南縣内の鮮人有力者」と変源官派に誣告したはあである。
「東海、第山南縣内の鮮人有力者」と変源官派に誣告したはあである。
「東海、第山南縣内の鮮人有力者」と変源官派に誣告したはあである。
「東海、第山南縣内の鮮人有力者」と変源中であると

トを共同會社第三十六共同九受 取船員 闘娱売作氏(無電局長) 外廿四名同上 十名同上

絶対はげぬ

B質價格·實行第一位

販賣購張、爲、確實九

特約店募集

告した。呼倫一帶は最近三河地方 の通行を禁止する旨の感慨令を布 の通行を禁止する旨の感慨令を布 を表 難職民と職隊の移跡で動

當分は專ら保養 本社への出社は午後から の動静

が、触り長い話をしては機識の病性には二時間ほどお話相手となったのは、自分も同じない。自分も同じない。 大平満鐵副總裁談 總裁の沿線最楽は見合せとなるかとの打合も全部出來るであらう。

勝飛、**反**勝飛、一側一縮。

奥東では過物で

大觀

小

即甲赿次第御送=致えカタログ特約案内書

ても減数の事業上については来だ 配を共にして語った、話といって とうかと思って が日取などについては未だ何等考れれない。倘然に買取つた機山 批宅で結構だ、多分社員の合宿所自分は入らない現在のロシャ町の 台の元古澤丈作氏宅は修理等に五 萬国餘を投ぎねばならぬさうだが に改造することにならう 五台山下の間線山も、頃合を計

だが、形勢、蔣介石に不利とな 王祥に歩がよ過ぎはせぬかの

とは、支那の常恋。 の、そこで軍事動特が政治動時とな の、そこで軍事動特が政治動時とな

仙石總裁の

新任挨拶

文書課長代理で

変務の形勢、圏心事である。
終発である。
第介石の勝注を収へてゐるが。
第介石の勝注を収へてゐるが。 が併し、石砂亭城の武美進出作

市内各方面を解説した 地域の代理として新任鉄形のため

鍋島秘書役挨拶

・ 一十十分 (世九日)南西の風晴れ後書り (世九日)南西の風晴れ後書り

退病治弱

ハ化カ金十

○著者三十五年間 一意專心 ある。

る

る

な

が

が

が

が

の

で

さ

れ

に

あ

だ

の

で

さ

れ

に

ま

が

の

、

、 進し凡ての病策を治癒し虚弱者を一掃す現代のあらゆる治病法を超越し他康を増 不及治學由海縣與空無代繼星十二大日本國民立志學會

東東市外板橋町柏南台三四七 年よ京古母子やよ 振替口座東京七九六三番電話大塚二八八三番

阻蒸器取入事品

短醫 期族 養士

成の

とこつの献金話がある。一つは 風に悩んで二十八日四十 その知人たる市

市役所に関った話で深られた文

しの大看板はポスターやパンスの口さんの無済興能来!財政立 の職物入りではやし立てられ

百周郡献金したいと電話で申込ん との命特な人は遊信尉監理既に献 めてゐる心部末大氏、もう一人は がある心部末大氏、もう一人は がある心部が大人は遊信尉監理既に献 のである心部が大人は近信尉監理既に献 のである心部が大人は近信尉監理既に献 で來たものである 大連市大和町、大連市大和町、日民の和四年十月二十八日 市民一小官吏

壯烈なる拳鬪戦

き體操

は前夜の雨の乾くを待ちそれは前夜の雨の乾くを待ちそれは前夜の雨の乾くを待ちそれ

華がしかつた第一日

男性美の肉質相搏つ力の事動が影

く學行された

早慶再び見ゆ

神宮競技愈よ始まる

五百圓

日満連絡上り機

名物で

回収的膨炭をたすはずである。これたる対手と膨緩破の膨脹を以て るであらう。早暖暖の典型的である職機歌・各二千名。 である時候歌・各二千名。 である時候歌・各二千名。 である時候歌・各二千名。 である職様歌・各二千名。 である職様歌・各二千名。 である職様歌・各二千名。 である職様歌・名二千名。 である職様歌・名二千名。 は、 と腹接触の腕腕を以て

りその戦心

抱妓を引具して 遊興殘金請求の訴へ

達者なオランダ船乘組員

榮楓畵伯洋畵展覽

午後六時まで

於青

年

十六日より五日間開催

の 原三十八號主人王範等といふ男が 大名を同家に至り酸々飲食のう 作六母を同家に至り酸々飲食のう 作六母を同家に至り酸々飲食のう いふので、肝臓のジョロン臓が今 して一同打調れて同家を出たまゝ して一同打調れて同家を出たまゝ しれたのはよかつたが、さて支援した。各々その夜は異画精調に酔ひへ、各々その夜は異画精調に酔ひ 前十二ろ小園・一支那遊 つた

と、概念八十五曜の支拂方を水上夜七時出帳してしまつては一大事 明金六圓餘を領形されたとの投書 があつたので貝墨では英彩琴を呼び出し収調べたところ。その金は が出し収調べたところ。その金は をの他に費消したと自己し、拾帳 日沙河口署司法係へ一日太人よりとして去る十二日夜沙河口名の一日大人より 現在のほか試験をも**隊列するが。** 町社會館に於て菊花展**見曾を催し** では十一月一日より三日まで等 大道院では一大道院を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発し

日本人より

3628 夜間用





父松三 一二郎 儀 豫而是 二十分死去数侯間

萬全を期すべ 戸口調査の實地監査 大連署が泉警部を總指揮に 3 ・ とに東京女子酸機管樂學校の女 宮球場では無量長父宮殿下合職の 宮球場では無量長父宮殿下合職の 宮球場では無量長父宮殿下合職の

を期するべく種々批野中であるが 野の度を加へ行く季節にあるので、 と けふ總動員を行ひ として戸口調査の

第一步

各監督者が一々貨地に置つて再調 は壯烈なる響団戦開始されい思い「はリーグの叛二位を占め十一月」「慶應を破つて動権を確立し総上更で午後一時より神宮外税相撲場で「二団戦に二人繁零にて勝つた慇懃」見ゆること、なつた、旱大は再びされた力と慥の美を表現した、次 【東京十八日愛常】廿七日の爨立 日の晴れの天紀り球試合に早大と本際深殿校的二百名の生徒も残骸に入る。 【東京十八日愛常】廿七日の爨立 日の晴れの天紀り球試合に早大と本際深殿校的二百名の生徒も残骸

松元旅順民政署員は

さる

四名けふ遂に起訴。 犯罪關係愈よ明瞭となって

▲ 開斯、詩城 大連聖德衛四丁目 草野喜代治(四七) 草野喜代治(四七) ▲贈斯、詐欺、横領 有島、伸雄田も 船崎 題戴(三九) 関、元率大新聞 町の運びに歪ったので、七月町を開始し、窓に右出願は六間の報酬金提供かたを契約し、これに百聞、松元に連要維有四丁目 百聞、松元に連要維有四丁目

田本ので、なは有場の許しているもので、なは有場の許しているもので、なは有場の許ししているもので、なは有場の許している。 は、一千時の現金を許収している。

义自動車が

八力車を跳飛す

し支援のを背ぜなかつたら、主人を伴ひ、船貸と交渉のうへ

ある水上器では収取ず

病身を悲思縊死

市内衛日町四五大

前四時十分四公園町二二五前

(三八) 之れを受餓のうへ自己所得の 関を天曜し、残金七月間のう 北田、草野の兩名は前記拠 日午後三時ごろ漂系屯大佛山一番地山城において織地監の人が乗見し小崎子器に配出でたので同様にて城神を行った結果、市で間様に下番地へ終と観光であるを通行と別様の大統領人で、市では、大統領の大統領人で、市では、大統領の大統領人の要したが原因は、一番の大統領人の要したが原因は、一番の大統領人の要したが原因は、一番の大統領人の要したが原因は、大統領人の要したが原因は、大統領人の要したが原因は、大統領人の要したが原因は、大統領人の表表の表表を表表した。

松崩 旅順民族署正工

後二時代いよく左の罪名

ば直に送呈すると ば直に送呈すると は直に送呈すると

採成の概測を出職した際、その許しはまた松元が旅職民政業官舎に藤一養命の許可を収つてやると焼さ近の職名が旅職民政署に玉の消砂料。 顧晴はまた有島に情を通じ、職名 | 搬元に転し舗東藤へ運動し阿片小右被疑者の泥底軸係はお田、草野 | 可促進の運動かたを敲幅に依疑し | このほか縁喉は小蝎子宏微橋五五 百四まで樹倒し七百四全部を自己ご所持の二百個のほか松元の分五 このほか融稿は小場子宏信を

被疑者の犯罪事實

無故職の芝生をさらくくと協力では、は珍しくけふは小客日和電 が競生し飼養生は全臓の状態にあれば水薬制の背後地丁上達貝高 はれば水薬制の背後地丁上達貝高

院向けてナニが可笑しいスタンドア・「うつく過ける奴を追離けて一生職な害んである。だが二匹のお猫は落花生を持つて逃ける奴を追離けて一生職な

花煙 素が搾らしげに黄ばんだアカ

お猿さんの愛嬌

猛烈な牛疫 傳染區域の擴張を憂慮

不溪湖背後地に 高は瞬部はかに全治元日の傷を負地の場合は一大大大を操くて通行中の苦力高耳場(ニンの自動車は二十六十十十六時三十分可服の東路に於って通行中の苦力高耳場(ニンを使き

る。右は九月上旬から上流富城樓を全端せしめた牛投にらうとそのを全端せしめた牛投にらうとその

米水兵放還 要塞撮影の 懇々説論の

ーア戦の論められる

青森縣の大水 三百戸を焼

一三百戸を総失し四時銀火したが、 町五丁日標湯事中村方より發火一 一二、三、四丁目の各日城の場所約 一、三、四丁目の各日城の場所約 が、原因は鹽突掃除の不給末から死傷者ある見込みで調査してゐる 既こそは質に火の川

威債償還のためと一

小官吏が

家族四人分として四十圓をけふ市役所へ

おも茶秋風 身も心も打ち込んだ

爺さん頭に湯氣ポツポ 物色 す る一方四日ばかり から する一方四日ばかり 物色す る一方四日ばかり 漫町端とルあたりにば間を

が生命危篤

直ちに小崎子博愛橋院に牧谷した町ちに小崎子博愛橋院に牧谷して該電車に跳飛ばされ 一十七日午前十一時五十五分ごろ市 内泉町十六清忠はでもの運転する 内泉町十六清忠はでもの運転する 一年のイラスで統三一七號が水派 をしかよった際、市内国町一九七 をしかよった際、市内国町一九七 ででは、「中国」は、「中国」では、「中国」では、「中国」では、「中国」では、「中国」では、「中国」では、「中国」では、「中国」は の事である おも茶にそむかれた小田は禿頭か めである。一千圓を提供しその上はんとした評濫が瓦餅に隣した講を稼ぎこの命を以て二川の後を追

の她多数である

ル年最新柄 格大安要 **祝儀用約附** 北帯訪問着 投賣物 見切品豊富 大量仕入に付他店の 東亜物産階上 組代用花色金巾裏地一圓七十銭二圓二十銭外に奉仕品御一名一反限り白金巾工工上銭 磐城町扇芳亭職 追從

和(三)の日野軍は二十六日日町四五大連タクシー運輸 時計及貴金屬 七 他一切 J. 引 h 大賣

が 大賞品を呈すると、なは出品者 でが、大せられたしと 半額提供 初回の賣出し丈けでは整理付き 福引 差上ます 券 B 0 +: # H より より 月

陳列振 古 \$ 早

出

一層安値に

御魔下さ

京える場 **肿** 戸豆粕 筒

(可製物便都殖三第)

目減り黴も生せず

て好評

前途の有望を實證

試驗的乾燥粕

日午後二時から左

漁往李沙

况

産

此の賣行を

東京期米

スイ店

川家、麻雀、寶石、毛皮、象牙、金銀細工

三府商工會滿鐵會社指定 大連市磐城

緊縮旅館 何卒御越しを待つ

でござんすかっこれと

L'H'

たんだ。足でも縮めたの

さうでもないんだがい

や含んで、重ねられて行く。宮篋は縄なかの群系の如き白狐のお油の活動等、物有をいぢめ扱く無額浪人様、野職の眼を

で大連市高砂町公開的 養液 難房で 大連市高砂町公開的 養液 難房で 大震湖水利町 多久 島 難 房で 大震神 原の 大島 地 房間 大手 に

金金魚

「妊婦持で、ヘニ」

源八郎は何覧はぬ間で急き立て でいか回の数を抜けりやすぐだい であるいうちに行からおや

てゐるらしい。

田五郎が、へたばりさらになつ

1° 25

しだ田五郎し

田五郎さんとやら、お前さんは

滅入館の襲方が田五郎を連 川坂を左へとつて行きかけ

ことだ――おっ、こつから此方へのだらが除大事にして被らさない

→ 鬼頭等の集り帰園の見世物の雑路に刺銭を求めんとしていて美丈夫の酒造澤重左を頭に刹勝主義者江浦、インテリゲンで美丈夫の酒造澤重左を頭に刹勝主義者江浦、インテリゲンで美丈夫の酒造澤重左を頭に刹勝主義者江浦、インテリゲンで美丈夫の酒造澤重左を頭に刹勝を覆め戻に有りし江戸の街里を開発、緑村樹太郎入社第一回主演映閩南光明、阪本三右衛門を開作、二月五

壽々喜多呂九平原作、二川文太郎

●特約代理店募集

変失だらう 」

を押して太吉と

に散兵衛の

彩してるますんで」

大したもんぢやないんだが。 「そ、その通りで、まつたく 太吉、御苦勢だつ

らだ、帰眠だらう」

と此方は順八郎、土方の親方ら と此方は順八郎、土方の親方ら

方が、わしの家へ近道たんだ。お「伊賀事女さまの狐の森を抜けた

論より毘據先づ試して御覧

神楽法論は 他のあかる で外はよる 所記を成 道に現て

貴の町部門

世につこり遊ばす事があります。後といえば 等は『悪乃玉』を使用して効果のない時始 につこり遊ばす事があります。後といえば

水鍋

B

ツに「サンライズ」後に「マザーマックリー」は壁なる母性繁晩識である母性繁晩識はある母性繁晩識は

可公

恵の三

肺病、肋膜に

0

事

模商錄登府政本日大 统七七岁五〇瓦第

凸版と

調

B

九

の宿で肥てくれ。明日宿贈を決めてゐた所だ。とにかく今夜はわし

+

れた。何しろ手が足りなくて困つ「田五郎さんとやら、よく來てく

「百姓々やつてゐたといぶのだな」

でも死んで、田畑がおねしの所へるまい――そこで何だな、何父母

マザー

マクリー

正直で小心らしい男だっ

さら云つて。

瀬八郎の群片は田

「角性は可慮でやつてるた?」

御苦勢だつた

んだが、うまく手があいてたんで

「そ、それは」 何年くらるやつて、

をしてゐたのはその前のれは――十、十四、五年

あれは

默

彌

础

平

(153

と歌いユーモアーと野家郷…嗚慢

一十八一

日片

りよし

公

廿

日より公開

と。それへかぶせるやうに太吉がむつくり起ったので。田五郎は 間の挟へ來ると。脚んでゐた男 髑髏の革袋(一七)

とはない。田五郎さん。 「前には何をしてゐた?」「ひゃく。百姓で……」 態か んから出来るだらうかなし 「以回は何をしてゐた?刀仕事な いふわけでもないの

「伊賀事女さまの社守り、あ 協和會館映画 映画演藝 を上映

主機の下に奏る三十日風過グローナ、ブリュフタナー映画「ツヤンテ、ブリュフタナー映画「ツヤンケル」(七巻)及びパテー、ドミル映画「大概行進版」を鐵和館館に於て上映するが、入場料は大人に終て上映するが、入場料は大人 銭である 主催の下に変る三十日獨逸グロー漸緩社験倶樂部に於ては同倶県部 する事になっ

音々の前に頂はれる多くの映画は 長田殿彦氏の祗園を題標とした 作製「練日傘」の中に取められて あるが氏の耐友であるマキノの相 一般ででであるマキノの相 一般には数学でであるマキノの相 一般には数学でであるマキノの相 であるであるマキノの相 であるであるマキノの相

が 全の 型り 脚 和 動館 に 三十日に 接と云ふ事になった 使と云ふ事になった 能で上映す ヤングル」を其の後演 ▲しかし

無黒小津安文郎監督 無黒小津安文郎監督 を対し、東京のため山業 がアターレコード宣傳のため山業 がアターレコード宣傳のため山業 がアターレコード宣傳のため山業

もりではあるま

長近――勿論大連に於て――此れ

味が取られて居るものであるが、

の賃めに『無理失理亭主』を敷作 テイフシュ・インターナショナル 御家客の御保存には からだるは 防虫香 厄 ●相北人五十 寺早 居 版六三

统二十处内科选

田中絹代主演 田中絹代主演 日中絹代主演 を養る街のコンピネーシ 短を養る街のコンピネーシ

シ夢のた

る飾を用事検討錦に新を装置者のし懐

保富田池…督監。色闻。作原 晶作特超活日

落時 田 岡 郎太見多上尾 扁次阴內河大郎 四 要新 郎 十 崎 谷 一嘉 本山子梅 木機 子米 井西 子良川 總

=

丘

二者 羅

以公開

兴畫界東西

ないか。此方が演繹内をして欲しいくらあだ」 ラジン脈とは低したが耐人お補で、 かったことのあるグラディス・ファイバンクスは野豚も映画にも

全 れます。

間位から 快養

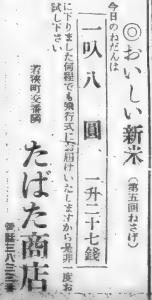
演主可一第社入部太陽村澤 星名の開東 配太文川二…督監 平九呂多喜々簿…作卓 普小本旗

演し氏ンレダラクマ・一タクイヴ 様トツネベ・ルベ

開 黄主郎九軍宗正 合河 姐原 會 1. 妃皇 日二大公開 券錢拾貳 の資 お (L 殺古代美) 作特合何 屋

新 斷 また 説明ニ 巻煙草 The Magnum-Three Castles" Cigarettes WDEHOWIlls

大鴻市薬町二 11 は電話歴七六七番への不配達其他の故障 肝: 洋 行 専賣ラチウム温久火治療器(建年) 特許ラチウム温久治療、日イマチス、神經痛 (資限記) 胃腸病、子宮病、ロイマチス、神經痛 (資限記) 胃腸病、子宮病、ロイマチス、神經痛 (資限記) 胃腸病、子宮病、ロイマチス、神經痛 (資限記) 胃腸病、子宮病、ロイマチス、神經痛 (資限記) 胃腸病、子宮病、ロイマチス、神經痛 (資限記) 胃腸病、子宮病、ロイマチス、神經痛 (資限な) 大連市西会園町百五十三番地 (資限な) 大連市西会園町百五十三番地 のわだんけ 队 はい 10





京都帝國大學教授、文學博士

地

大

系

編

委

員

始開本配日卅月十愈

をこ墓太の於本 證れ部邸だい大 には地数。て系 す本質優全役は



0

湖地と型士操威全の航

を即形さ代を學造の中漫 認ちをれ地含術社で世然 め綸見る理む的のし紀た でを代にのの理書はら紀あ見り存原で書に到は行らいにす則めた係底鬼 ら而變るをるるる

子 八 第

(日頃火)

員

待

衆貫深にを多系る學列 はた線調つ貫には可のす 次フの無てす大そき名 す大そき名るる衆のでを底 ロなな格主的目な冠の 學ソる幾に張な的いすも 者フ交何經は内上°るの のイ錯圖緯現容純改もは

日本地理大系編單是東北帝國大學教授·理學博 致る嚴屬ら特て衆イ科閑し 上丈格のわにに化ン學問 且けに飛一此於す数の題 つて地行例計でる授覧で 壮充理機ご畫もにを落け な分的こしにそ成招をな な特で對の功聘意い る 風功た、す然 心は功難るし 心間挙解。乍 に其の質行に多加したので に其の質行に多加さも、特に同 が一次の に関して待つ可きである。 の に関して待つ可きである。 の に関して待つ可きである。 が 手は此企が年來の主張 が の に関いなが には が の には の に に に の に 。 に の に の に の に の に の に 。 に の に 。 で張附而同意ら回すン俗 あと記か社をうのらみ化 る一すも所怠。企大タは

正地るへる等づた抱た我 確理科更まの我。負がが なを學にで自全そこ今國 專的各悉然領の努やに 的覽をに真かににを出來 知者附就にら存よ以版國 こを本のな人即地の社書 書三る事ち理刊はが

る起は方解現山大行非乏もし我面釋象川系を常し のつ國にをに湖は企なか で、の亘加至海先てるつ にててるのは屬く質形の参把國種解し飛予に象る。 加握民々説い行等合で しず生のと 。班の致め元 る活姿地さの指する來このを方れ活揮るか地 書がの視説此に依の此學 を出基しミ等依りでのの 江來調直にのる一あ企對

此にでのな甚ら眞學實 のよ有有ふた、はの在 企りつす其悅所悉本の

汗ミ感謝の生活

滿洲 刑會事業研究會

消費節約三生活改善

於ける安全運動

·坂田(鉄

三百 中

れらく漫談

労農露國を直視

中村養太皇

外曙

大 本 大連市

共同常和似时 II

一、〇〇〇頁

携帯型解書!! 製)二個三拾錢 一圓九十銭

ぬ。この觀點から畫の多い漢字も重近代人に近視眼の多い原因の過半は、 諸君よ、實務家諸氏よ、 特鑄大活字使用 快

用には大活字の詳しい國語解書でガッチリやりませう?! この觀點から畫の多い漢字も重大な國字問題である。 ポケット型は携帯用に當て、 讀む文字に求めねばなら 処めて机上

全大 を字 0

文學博士 金澤庄三郎編纂 版型) 現品全国書店に配布湾!!! 內容見本雖 最新刊 定價 貳圓五拾 內地宣料 一册 十八般 賣

人阪屋號書

(明るく、見よく、引きよい、理想的)

(教語一、四○○語の大曽補により、

(較して、定價は極めて低く買い易)用紙、内容、形態特に優れたのに

海町政之助为 资價內圖大十級 资價二國五十級 资价二國五十級 资价 大村等風車小屋側5つ大村等風車小屋側5つ 神言者 現 **經 經 濟 學** 高領著自由人心會風 帰*素轉換期の日本



で、右の御祭界

聖上陛下、畏くも

に記するけ山西省教行委員會の は山氏の態度如何が東勢を左右 のである 《大津愛》支那の時局は山門高 一副長心事の一端を物語るも 《大津愛》支那の時局は山門高 一 競表した瞬局に對する管言で、

御用邸造營御

宮相を召され知

兵工廠來月から

場に残定し難いと

内憂勝眉に迫り日曜は過境を侵略 思と讚はねばならない。現今外患が 原を調に迫り日曜は過境を侵略

ので、萬職を振してその目的ので、萬職を振してその目ので、

1332へた記者に對し左の 以理に公使館に入った 以理に公使館に入った はいます。 は分利公使

成せんと欲する重要事である。

して失敗する事は別に惜むに足ら い事であるが、其の所爲は統一を と が、其の所爲は統一を

勞農の肚を見透し

利益と幸福

州餘ケ國の權威を集め

懲よけふから開く

上業、動力二大會議

私的研究ながら

責任は重大

太平洋問題調査會に於ける

新渡戸博士開會の辭

瀬が十

幸福 を職るに在

單獨交渉見合す

南方と連絡して形勢を觀望

奉天派の對露方針

天脈は電纜に交渉を行ふことを暫く控へ、南方と連絡して形勢を観視することになつたと記は支那の時局を利用し労農に有利に展開せんとする政策を採つてをるため、率【本天物電二十八日数】率天脈は強に開催した重要會議において無露方針を決定した。夫によると劈

東京十八日漫電】萬國工整會議及び第五同世界動力會議は絵々『東京十八日漫電』萬國工整會議及び第五同世界動力會議は絵々『東京十八日漫電』萬國工整會議及び第五同世界動力會議は絵々

名既に全部の敵も揃ひ三十餘ヶ國に

露支兩國とも

國境に軍隊増派

積極的に交戦する事はあるまいこ

は樂觀

ため勝手に軍閥の末路過程に陷入である。元米此等の人々が野心のである。元米此等の人々が野心のである。元米此等の人々が野心の

満洲視察後に

一下洋の岸で結ばれんとして居る 今こそは我々の古い民族と新らしい民族とがよろのである。我々は他の國家を確いれる して國を競爭の賦位、商業の単 に一國を競爭の賦位、商業の単 に一國を競爭の賦位、商業の単 に一國を競爭の賦位、商業の単 に一國を競爭の賦位、商業の単 に一國を競爭の賦位、商業の単 に一國を競爭の賦位、商業の単 に一國を競爭の財政、商業の単 に一國を競爭の財政、商業の単 に一國を競爭の財政、商業の単 に一國を競爭の財政、商業の単 に一國を受事の財政、商業の単 に一國を受事の財政、商業の単 に一國を受事の財政、商業の単 に一國を受事の財政、商業の単 に一國を受事の財政、商業の単 に一國を受事の財政、商業の単 に一個の利益を阻害せずして商 を としてある。例へ今日に於て

交渉を開始

北平で佐分利公使語る

市豫算更正

さず、若し省内の有宅なる企業をは一律に外人資本の参加を許している。

平洋沿岸に生れた文化は今や太州中海の沿岸に起った文化と太の如し

ける新渡戸郡土の開館の酔大婆をり開かれる太平洋問題調査會に於

◇…最近質潔は閉底に飲入し影と観察を極めた

獨立を覚するに至った 電が發せられ改進版が勢ひを得る

際では人民の殺傷されたものは二

日 ○ 「温南福建に液及したの中央解説の通常が出でったが延伸もたく執後に呼吸には潜河の機能が影響したが発伸もたく執後に変したが発伸したく執後に対して、月十七、11に選手経と比す。

ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 ででした。 でででした。 ででである。 ででである。 ででは、これでは、できないである。 ででは、これでは、できないである。 でである。 でいる。 でい

政、民兩派共に賛成

來議會提出の 國家賠償法案

国の るに吉倉磯道関郷愛・以来古城省 政府が省内に於ける鑑計を行って 野等に難し非常にる微減を行って 居ることを窺知するに足るもので

、兵役籌務者が開體として公共、兵役崇務者が開體として公共

へること

「・資州なる入麿者の家族に對しては當人の申告無くも丞共閣で開立の上補助金を交附において調査の上補助金を交附し其金額を増額するやう軍事教護法を改正する。

「入麿者の近親の病氣、死去等の際は往復旅費を支給せしむ。 **物者が開體として公共**

丁の観立金獣を探る外無しとのなが、とが様淑 は目下の既態では支出財職なるを はて結局非役計丁税の如きものを はて結局非役計丁税の如きものを

來連用務

仙石總裁に挨拶

埠頭主任級の異動

歌米出張を命ぜられる事となつて 部付となり近く一ヶ年の確定にて 第二埠頭係主代離弘氏は今回無道

日間保含方面を整置と 変工卓頭係主性には第二埠頭係主性に 物中島文大民が低命され夫々十八 で中島文大民が低命され夫々十八

電火変形の支那殿の立役者哈爾賓 急行にて塞天より響に東連 電子と變名してヤマトホテル入場 電に投稿したがよ入月午後二時頃 電子に発音したがよ入月午後二時頃 で大概理のを突然訪れ蒸氏個人の資 で大概理のを変数が成は上七日朝 で大概理のを変数が成まれる。 で大概理のを変数が成まれる。 で大概理のを変数が、 でいるを変数が、 でいると、 でいると

明治節戒賀會

定期後提供用位置

で 十一月三日大連市党所主機で 京記 れたいと ▲日時三日午前十一時半 ▲樹川 大連ヤマトホテル ▲ 台費一園 へ 大連ヤマトホテル ▲ 台費一園 へ 大連ヤマトホテル ▲ 台費一園 へ

第二十八日報 東北省兵 たが、本日午後一時平着の急行列 帯院の件を聞り十二時離は自相かける 事にて職子房秘書を聴へ來奉し、 ひ谷地灘拳側着一時離口首相を訪せて職業の不足を関心、 製回委員 たが、本日午後一時平着の急行列 帯院の件を聞り十二時離口首相を訪せて能を開給し駆ら続器態勢と 東にて職子房秘書を聴へ來奉し、 る時間の件を聞り十二時離日首相を訪せて他。
「東京二十八日発電」安滋内相は
古るとは明本を記を含すと 國人の共に国然叛國の所

安危を職みず人民の痛苦を思はざく彼等が喪心対狂の沙汰で薫園の

吉林省でも

外支合辦を禁止

背けば國産盗賣罪

在 れから毎日荒滅を泳ぐ、その時間 長して十二時間十分位から太寒に延 長して十二時間十分位から太寒に延 野間の驚食とすること。それから 開間の驚食とすること。それから 大寒に修業と でんびい は成るべく 減時間にして一日 に数回とる、大寒に修業を積んで

COOO東 七八七八 四四元四新 〇 〇〇

一 一二 〇 〇四六十後 八不不六/三七場 一 〇九六五引

ある際、再び戒兵を事とし國民を

一変に傾けても 猶及ばさる 憂ひの 飢酸は全國に 温ねく全國を内間

ので、現下の局面を打破せんと欲野力するため速かに目前の紛減を せば次の四項が常配の急務と考へ の開閉を除去し三民主義の實現にざる事である。晋人は革命の前途 り共に一部す可から

中央を擁護

山西執行委員會の

宣言がこれを示す

一。以黨建國の際は一切の政治は 均しく黨の指揮と指導を受け就 一を計らねばならない、若し黨 内に分派が出來ては勢ひ四分立 独き、黨の軍心を失ふ故に黨內 の分派小組織を絕對に取締る必 一十四對零で

工大快勝す

工事とのラグビー戦

後半開始後工事。一

11、國民黨の綱領で組織された國際がある、本黨の行政間を授けたであり、本黨の行政間を授けた政府である、本黨が幾多の領性と血肉を摔げて始めて全國を統と血肉を摔げて始めて全國を統と血肉を摔げて始めて全國を統 を満ラグビー選手機州内を選決勝 を満ラグビー選手機川内を選決勝 大連運動場にて奉行されたが、工 大の活躍目費まして二十四野際に て快騰する路殿間四時三十五分。 エ大ヤックオフ エ大ヤックオフ 工 大24

前半 ルーズとなったが リブルですめ、十分 リブルですると カーズとなったが

二二三 **後** 九九一場 五八九引 七〇九

報

も内戦の口賓を發見しつゝあ

日

九

=

月

+

年

四

和

+

なる程度なるかを置みず、ただ皮と思ふ。然るに自己の力量の如何 の力量を涵養す 石等

考へ來ると、支那の革命完全を夢中うに選ばねといふ現實に逢荒せやうに選ばねといふ現實に逢荒せでるを得ねのである。かくの如くがなを得れていまいま複雑にして思ふ 居つた、

向がある。この状態で消めば軽人 て極力器化を強制してゐるとひ田舎から都市へと移つて來る倒 だらうと見られ変那 帰は例に就を立てることが六ケしくなり勢 の秘密結論は自然崩壊するに を命ぜられたので十一日 平漢全線の不通

行する官を告げた。 前線を観察した。英陽池水間は到 が線を観察した。英陽池水間は到 では、英陽池水間は到 という。 同地には王金紅の四十七郎、魏益三の五十四郎劉登紫の十四郎等が駐取で居り何氏は軍官全部を練兵場に集め觀示を興へ近全部を練兵場に集め觀示を興へ近全部を練兵場に集め觀示を興へ近全部を持ち、十四日汽車で だらうと見られ支那幅は例によつの秘密結就は自然崩壊するに至る 多数の軍隊が製備に當つた登縣 は一應の駐軍が居つた 適した、学議領は黒石崩

州より登場高城一帯に四師は駐馬店に在り、 廿三日何應欽恐覧に随つて許昌 一帶に位置し第三十四師が 戦闘は無かつた 前線は前哨 第二

肥齢が孝養村まで

立会 全 点 八 拾 五 錄 金 全 一 回 金 歌 合 新 排 地

不用

品親切本位質堂

古蓋町 たじまや観六六〇一番 街道入報録上

度紙 酸中に家庭市 後邊商大

満日家内

提灯

七川唯一七一

貸衣 等斯邊州

活動の

四番

に當つて居り

勝つた、西北軍の常 集結して居る故双

を執つてゐたとの嫌疑である 機能は勢農公館共産黨員の を執つてゐたとの嫌疑で等とで 機能は勢農公館共産黨員の を執つてゐたとの嫌疑である 陸氏一行關寧

在監共產黨員 時時期列車で南下。南京に引場たりなり、東陸夢能は一行は廿五日午後十一東陸夢能は一行は廿五日午後十一

「守便衆第十三族長吉與氏は最近職が、下谷戦長及舎管長等に就し、不選が、する通令を強したが、右は駐吉邊のする職会に基いたものであると

有してるた哈爾賓監獄所師ラー ト関籍

停止状態であらうと 第14年 第24年 第25e 第25e

自動

南京政府の

視察員來吉

故澤幡巡

巡查部長

殉職弔尉

心金募集

大大説は温度の

察署故

募集の演藝會 軍隊慰問資金

の通りであるが、膨々來月八日・作州主席の許可を得たことは既 一師小學校の各校庭に於て開演

西北軍事勃發のため

見舞して

【ハルピン製】ソウエー こ連絡の疑び 養を第三線として防衛に関って居 を第一線とし紫金銀を第二線、学 を第一線とし紫金銀を第二線、学 の張厳が山上に土骸で口巾を造つ五里の把子山前順山には五十一師後に向つたが孝義より西 地臓は等で西北軍と砲戦を交へ五十一節の前線部隊は紫芝雄

同夜鄭州に引返した た一週前西北軍が進撃したが之

防電機地を築き酸重に防備して居 が非常に繋がつた。陶地も山上に が非常に繋がつた。陶地も山上に 大連錦町四人を要す 大連錦町四人を要す 大 商 行

石原举行

ミシッと書音器は

川島ミシン店電六六八四

金庫 間宮式 手提金庫 間宮式 手提金庫

男女有給外交員來談

中古ピアノ舶來修理済

門札の瀬戸彫り

大連綿竹四 格方洋行 技師入用を知识會

女給 入用十八歳より出五歳迄 女給 入用・八歳より出五歳迄 明日廣場 起亭 電三四五三 明日廣場 起亭 電三四五三 一次給 入川縣通第二市場領土木 女給 入用 招聘固定船支給

金融 線 保 迅

提工舎 電池 部 電三三六 ジウ 電自動車オトバイラチ

金

融

算盤の同用命は

安給 別名 ライオン 電六二七四 吉野町 ライオン 電六二七四 大給 数名 原内懶張に付至急入 一本人來談の流町一ノ源 のである。 取引所継續食堂 電話六女紀 入用優遇山縣 通新 政島町石品食堂 信用 生産 第三ますや 電ス四九入 大口貸金及手形割引 大口貸金及手形割引 大口貸金及手形割引 大口貸金及手形割引 金融 通す◇櫻花薔嶺前班内 電呼出六六五○

ラヂ

李天浪速通 門水洋行 家天浪速通 門水洋行

門永洋行

門町一

瀬戸物へ彫り込み

艦甲

大連市但馬町二二

速成教授費夜

電八六七五

英文 養成並願印書寄宿舎有設英文 及邦文タイピスト生短期 夜間常宿舎有設英學會語號譯文案起草午前個人及クラス教授高等受 牛乳

4

ラデ オ協三十銭修理大電五十銭原和洋行ラチオ部電六七三九 ・ 造原和洋行ラチオ部電六七三九 ・ 造原和洋行ラチオ部電六七三九 ・ 造修理技術本位数 ・ 造修理技術本位数

英語

大連市大山通 小林又七 自動車線習所電二十三四五車運轉手暴車速成務成会 大連牛乳株式會社常話四五三

ニチロバン 電話大六六〇 ・ チロバン 電話大六六〇 ・ 一手 ロバン 電話大六六〇 なら大正牧場 三七番

| チカ日常良郷也は過家 | 大田 | チカ日常良郷也は過家 | 大田 | の方に曳る御希端者の門 | 合せは電四四九一本山へ 牛乳 薬及治療 パタークリー

蔘精 等限 病大連二葉町六〇 東京 大連二葉町六〇 大議市機速町持田職天堂・大議市機速町持田職天堂・ ラデオは何でも り

五球 ラデオは何でも大勉强

議理人共 酬總 家街院室

日本鑛石學第二

*生面を開拓を異へ、其の原用の智識を異へ、 法国法国经国法国法国 入 三 五 五 六

理學博士 廣應 岩崎重三氏著 心圆

シンガーミシンは常盤器

九、一二一代間一個一元間一元二一元間

港 回明 性病。報告所有 **東京市 古野町 二五** 皮膚病

フツ 研羅定述委託品版画特別 一大連響城町通五八 育年で

野中醫院

電話の対象的である。 流質品中奏 大口:特·赵克

出の三三三話電



いはねば 隴海線方面 戦況視察記

0

あるが十二時後は歌戯会が布かれて居つた、市内は平静で貼付されて居つた、市内は平静で で南下したが電影輸送 た聖朝順

大切なことを忘却しつ」あるやう 大切なことを忘却しつ」あるやう つゝある支那の有識騰君は、最もな近代的國家に建設せんとを急ぎ

崩壊して行く 不逞鮮人 各派の單一化も實現せず

满

北方人の考へ方であって

離合集散する現狀 常通り運輸して居る 常通り運輸して居る

に滞在充分な映察を遂げた後長春に投資した。一行は約一週間吉林に投資した。一行は約一週間吉林

て齊々哈爾、滿洲里に向ふ管で

橋支局、大連新聞大石橋支局、大連新聞大石橋地方事務所、大石橋市民大石橋地方委員會、滿洲

クサ 及職番の特 大連関場機根本薬局電比八六二 大連関場機根本薬局電比八六二 大連関場機根本薬局電比八六二

早

日本地史の研究

岩崎 重三氏著

一郎氏著

岩崎、重三氏著

総の

朝九時より夜八時迄 第 新 三 九 七一 五 第 新 三 九 七一 五 高 志 大連西醫九三(常經徭近)

近金

0

金

屬

材

演住松二郎氏著

性暴丸炎 鍼灸

電話四六二九番

秘書等に選へられては

十一月十日迄

定見の教育数の

貸家 櫻花養 家實凸十國

具付日寓眺良一和八、四、

鶴見

的科學院

信憑町

陽はらんことを 勝はらんことを の教育費の一部に贈呈せんとす、 で見の教育費の一部に贈呈せんとす、 で見の教育費の一部に贈呈せんとす。 ので下名等相計り左前期 では、で、佐つて下名等相計り左前期 では、で、佐つて下名等相計り左前期 では、で、佐つて下名等相計り左前期 では、で、佐つて下名等相計り左前期 では、で、佐つて下名等相計り左前期 では、で、佐つて下名等相計り左前期 では、で、佐つて下名等相計り左前期 では、で、たって、 のみ育費の一部に贈呈せんとす。

下洋間之八八八和問人 田部井下洋間之八八八八和問人 田部井

(日曜火)

《音林發》間島局子衛駐都延吉鎮 赤化取締通令

南征雜錄。

琴にして東安徽道を

大の商店立駅ぶ海岸の街や 一大の商店立駅ぶ海岸の街や 一大の商店立駅ぶ海岸の街や 一大の商店立駅ぶ海岸の街や 一大の商店立駅ぶ海岸の街や 一大の商店立駅ぶ海岸の街や 一大の商店立駅ぶ海岸の街や 一大の商店立駅ぶ海岸の街や 三のカバレイがあつてジャズの書館しく、支那戦場の戦し監も物の電しく、支那戦場の戦し監も物ので、中株以下の商職は拠んど後地で、中株以下の商職は拠んど後地に支配されて居るさらだ

石二島的の横

は地立工事のほに地域に繋がれて地に対するが、比較も今 たしい、恰近シンガポールやコロ 人、殊に前者の活動が目立つて花が、之に次いでは印度人アラピヤ

クリストペルとコロ

北澤品はパナマ帽子と風物組出産品はパナマ帽子と風物組 金ピカ物 本人と見 中でも旅行者の好

 (Ξ)

はれて居る、海岸通の夜の店司に知らず平値位が至當の板引だとい 健騒が出没して氣味わるいが。 支は眼附きの鋭い等働者や、黒人の

面白味もある、特殊といへばコロ 場に特殊の感染が形造られて居る ンの基督青年 の如く酷も)といっぱコローのの如く酷も見つて聞るといっぱい の米国マ解兵戦

婦人 病大連二

電話四六九二番

學術大學學

三枝產雄氏著

金

術

近重

實验氏署

療治御野みの方は

及

0

F

兜

太多光太郎氏著

ゴム印の御用命は

印

諸貨物運搬電票の日の出を御利用ではいる場合の出を御利用ではいるの目の出を御利用ではいるのでは、

最近に於け

で、米園人の商業的發展は選べと
ナマは電離と県人種との集合心際
ナマは電離と県人種との集合心際 れだけ安息日の市中には軍服姿のは一萬以上、過判はこのコロン附 酒を置らせて居るのも已むを得な特等を巡逻した米國が、青年育に 場合人が頻繁である、随つてこ 題がも登りすれば結局が はない、互織の資本を始 関人の商業的發展は選え 直ちに近世文明の中歌が拉丁民族たことは興味ある問題であつて、 に轉移した敷御だといひ得る。

ス大活廊は他歌蹊にこの帰還を ての賞現力を伸化せしめた。之は 文間等に配州の脚徹を影響せんと する宿園主義の登場で、世界町町 する宿園主義の登場で、世界町町 は前回の分】 米側に促進させたの

だ」と疑いたが、私は寧ろ英雄にした大選河も豊明すれば総尉終援

ヤンキイ

た、運河の状態にの勢力が設備し

英米兩國の所有に難し、 若くはその勢力に依つて完成され 界交通界の二大事態だが、そのい ば藤士と並んでパナマのそれは世 茲に説明して見たい、運河とい 私は單の大手にその一般を

の手から、アンドロサクソンの事 米主義

商品 古本 高值買受御報多上 西廣場

西腹場 正直洋行電五五五七番科三河町 正直洋行電五五五七番

寫真

李門のヤナギヤ

高し 支那服の準備有日本機際 電話三五八四番 實印 大山通(日本橋 通(日本協近) 吉野 號 電話八五九八番電話八五九八番 電話八五九八番 印書藤喬電話六一六コー野書藤喬電話六一六コー の御用命は 電七八五九番 治療

東郷町十六八番洲ホテル北八軒目神路運搬初テ吉以現ル神路運搬初テ吉以現ル神路運搬初テ吉以現ルを整備を開かる。 東京盲事校出身

西西口 券勒莱爾新馬機買入四百團 多数集價券與買金職 不用 計 香川商店 電大七五一品特別高値質受

は没速町鈴木 ライト窓質館電三六八八 ライト窓質館電三六八八 連町三丁目 電五九八二

深間力學と實 大傳馬町二丁目 大傳馬町二丁目 本に水力機の通過 がに水力機の通過 一動論を見て、更に職員を新たこれ等の概念を割合にアインの概念を割合にアインの概念を割合にアインの理がは、シェレーデスを選出した人々は、シェレーデスに対している。

鸭

天

州外柔道爭覇戰 廿七日滿鐵道場で 優勝

開會の検修についで無限数率天の機能の検修についで無限数率天の の 職機者集ひその他 職袋は 閉門前 に 放て 奉続 の 五 テーム で 當日 は 日 (安奉線)の 五 テーム で 當日 は 日 (安奉線)の 五 テーム で 當日 は 日 (安奉線)の 五 テーム で 當日 は 日 は 一 の 職機者集ひその 他 職袋は 別門前 に から 高 像 幸 如く廿七日午前九時半から滿磯運動會奉天支部主催祭一川州流縄運動會奉天支部主催祭一川州 リーグ歌を行び探覧するのでや 「大きな行び探覧するのでや 「大きな行び探覧するのでや しく擧行さる 撫順 之南方 澤園本〇

醫大と奉中が

十七日闕東廳塗務局長より『貴 看の勇敢なる行動により運気現 行犯人を逮捕せる由その勞を多と

11十六日午後四時宇頃千代出通 り二十五番地と葵町入口角で千代 り二十五番地と葵町入口角で千代 野菜臣の乗れる自轉車が御突し自 等草は破壊され韓は全治一週間の を前日に増し餘興多く處況を極めた。 でれ韓は全治一週間の小北門裡昌和洋行店員和と奏町入口角で千代面と奏町入口角で千代面と乗町を開車が衝突し自 日 の教賞方を日本官滅に訴摘して来たがその成行は沿目されても、 実施の如きは今や全く破産に瀕しそれがである。 大がその成行は沿目されても、 大がその成行は沿目されても、

■ 本体總領事 北滿地方を視察中の 元すもので頗る有益なものである 陳列一般に荷物の完全な健變法を 法を示せるものを二幡の列車戶に 法を示せるものを二幡の列車戶に 海物、小荷物、貨物等の機能荷作用・一般に開放される。右は手には一個製作物で車展開買しは十一般に開放される。右は手に対象が、小荷物、貨物等の機能が高い、

たりまた。 無然病氏占め何れるれた又個人職では一、二等~…

ムに授與さ

州外ラ

グピーの豫選

働いた事を自白したが餘難ある見

込みである

決勝戦出場

た難その成績は左の通りでは最初が授與され午後四時間

● 京都県山代籍士本郷県にて来来 (南京政府慰問便) 子) サ六日過率大連へ まで一般の 汽車で荷馬

一、現・如

大晚餐會

學良氏の催し

1夜北平より米率 長鐵路局長) 二十 七日哈

が頃大官屯牌西方約三百米突の地震順瞬番二十六日十七時三十五分 見通し不能の場所であるは馬夫にで客車は三十分延滞過失は関所がで客車は三十分延滞過失は関所が 車の衝突

之

通 未

田井

は州外側より野大と率中が出場すされる全補ラグビース

强盗逮捕

華娟と高飛び

兩稅で華商壓迫

附屬地入口に頑張り

一重課税を課附する

產

大狐 が所長の弔辭 山遭難者の社葬

の一堂にかて開催され聴衆は堂にある。 非常な虚況 非常な虚況

本人及び電村長校長等を招待し来 る十一月二日午前十時より公會等 る十一月二日午前十時より公會等 接客者の健康

多少遅れる

第二十十二十六日午前十一時より銀売の順りは人を以て埋まつた。 で、変殊の悪風は朝になり一掃さた。 で、変殊の悪風は朝になり一掃されたる花のでフロ人を以て埋まつた。 で、変換は日和となったのでフロ人を以て埋まった。 と押掛け正午過には場またで変を開け

開場期

輸組加 現金 鞍 盟店で 買割引

上の實践を上ぐべく現金質物引を を売し整賞な歩みによって解な がの要し、一般では内容の充實を計りよりは 組合では内容の充實を計りよりは は合うでは内容の充實を計りよりは との意識を上ぐべく現金質物引を を売しを が、関心 を記して、 をこして、 をこして を の他の決議事項

日から開催

公休日間一日は下公休日間行の事

一、協議委員會は組合理事司會者と 協議委員會は組合理事司會者と する事に決定す する事に決定す で、委員會定例日の事

加盟店職ざらへ品共同廉質の

たし、委綱は次国の定例會にて援の下に十一月九日廉資を行ひ援の下に十一月九日廉資を行ひ

総裁と

第一囘卒業生

けふ終了式を擧げる

の設連を期してるます。 具店宅のまたっ

で呼ばれる歴しかく満洲の、中で 大日本四地のあらゆる運転家から 大日本四地のあらゆる運転家から 大田本四地のあらゆる運転家から

滿洲運動界。

一個十銭見當の様が二千數百圓も で、山本共大陸に於て愛上高の二倍以 で、山本共大陸に於て愛上金額は で、山本共大陸に於て愛上金額は で、山本共大陸に於て愛上金額は で、山本共大陸に於て愛上金額は で、山本共大陸に於て愛上金額は で、近端は整管室の愛上高の二倍以 上の金額を山本では変端いてゐる

山本ミ體育堂だけで

自分のテニス部が使ふ確球を直接に金銀行。日本郵船の三ヶ所では一定銀行。日本郵船の三ヶ所では

事は能にでも質賞

一年の竇上高が九萬二千

具から見た

人連の運動界は日本的に有名を

類其他

事を考へれば此の

保

十二、民國旗の

助率 教 授 大

Z

日清後後様文の事に到りる新田 陸皓東等に食し撃兵の事を討る。 陸皓東等に食し撃兵の事を討る。 楽叉光十二の歌を問ふ。 **皓東答へ**

に顕客を引つけやうとして居る。

又海世野は高くの野り置告は紅のゆ。

近多が、社會諸君孫辦衣服、賭川顧天氣構遍見塞、秋季將逾復

と記し第二は黒板に白掘を以て を記し第二は黒板に白掘を以て

薬を何腐にも用ふるは目立つて見と配せり。近來取締打倒等云ふ言

シ三つに分つ。第一は三枚の紅い 採辨爾洋海珠官燕銀耳金腿褶 風郷、蜜饅糖果南賀茶食店 電源、蜜饅糖果南賀茶食店

藤公追悼會

れる壁の整合にて商工会

(奏) 打倒虛儲拆扣本號確置質扣二十天

特別大波優 正式大開幕 特別大波優 正式大開幕 ・特別大波優 正式大開幕

のというという。

左列の如き文句を書き店頭のガラと記し別に五色の長方形の紙片に

意養無知

即來隨請職試為問來與請職試為

十三、中國商店近常家は経過日本のでは一十三、中國商店近

都笑我為病蛇族、則赖族斷不可都笑我為病蛇族、則黄色者比得同帝王一標之物、用黄色者比得同帝王一標之物,以能爲最貴 以效民爲本、不如製一管學人共憤、天日無光、我感見百姓困於虐政已非一、我自然光、我 **青天白日旗の起** 敗れたりと雖も間もなくして黄興漢口に敗れ郷朝臣亦

7(四)

東田 四田 山田 田田 田田 福

を取り紙上に置かきて

阿繼久震

衆皆之に

(四點

會を極めて九時散會したと

町の

無茶苦茶な多類の配金を眠したされる際現在支那傾内には實施されてない「印花既」の未納を理由にてない「印花既」の未納を理由に

十一月

一日より年中實行

孫文、歐洲に在りしが、此機の

育 て章炳敞、張元忠等の此事に費 のあり。志ある者皆日本に智慧 を表記、明本に関い、明は、明本に関い、明本に関い、明本に関い、明本に関い、明本に関い、明本に関い、明本に関い、明本に関い、明本に対は、明本に対は、明本に対は、明本に対は、明本に関い、明本に対は、明本に対は、明本に対は、明本に対は、明本に対対は、明本に対は、明本に対対は、明本に対対に対対に関い、明本に対対は、明本に対対は、明本に対対は、明本に対対は、明本に対対は、明本に対対は、明本に対対は、明は、明本に対は、明本に対は、明本に対は、明本に対は、明本に対は、明本に対対は、明本に対は、明本に対は、明本に対は、明は、明は、明本に対対は、明本に対対は、明は、明本に対は、明本に対は、明本に対は、明本に対は、明本に対は、明本に対は、明本に対は、明

(表) 破天荒大波價照碼再打九

は、一体の一本の藍色の長方族に同じくで、大波質で大波質が 締慌言滅價本號確實紅

*と記し第三も同じく無板に

來快買吧 失勿 良 機

今や語野は挺身微務の認めに殉 今や語野は挺身微務の認めに殉 を表に集り語君の鑑を迎へ祭ると 政に集り語君の鑑を迎へ祭ると 政に集り語君の鑑を迎へ祭ると の馬副々念、捧げんとす翼くば 東 が、 184四年十月二十七日

安東在海軍人職合分會では明治等

察を了へ十一月一日南下の豫定東大野間教授は本月三十日来哈視

第一向州外柔道原體優勝戰爭物戰

濱江雜組

十一時路質運に閉門した 柔道大會出場

日、永江時事、院は、新、草野時日、秋江時事、院は、新、草野時

美。 颜

0 白

粉 は

純 粹 無

洞岗

上品なお化粧

1 1

美。

を

御注意に就て

著るしく

品。秀、優、的、學、科。な 心。安急 8

▲お顔の第一番と と必美額 美顔ユー 粉 715:

が、又一方折介美しく恢復した肌も手入れを誤ります!

も、垢ヌケして美しい素顔にのあまり綺麗でなかつたがで

粧用美額水で沸したガーゼの で今一度丁塚に押へ、更に化 で今一度丁塚に押へ、更に化

これ等の事々を少しお彼け

素顔の美しさ

お化粧の仕上げ

注頭の水は飲み水にして差 なるべくならば微温器にして なるべくならば微温器にして 洗顔用水に就て

多くなり ました!

年ばいの方にも

優美な頭を恵まれてゐる」歌

だ人はかう言つて美むくらる

▲平早く敬活なお化粧には本品をし

▲上品な滞新なお化粧には本品を上

御愛用の

▲色の白くない方の白粉ー

美質 あぶら性の方やし

方をお好みになる方、然うい場う落附き氣味のある白さの斯う落附き氣味のある白さの 白さを好む方

婦人美の中心 くする為めに 次を御覧下さ を屹度 となる 47

ひますので、ごなたにでも努

一寸附けるだけ

現はし生地まで で活々とした上 のない水白粉ー **坂ヌケのする類** 品なお化粧美を

CHANGE CAN DESCRIPTION OF THE STATE OF THE S

粉。 殊に適 お顔の手入れ 切。 ts 0

流れるこいふ程の事は殆ごな の頃は少し位は暑く感じる稻穂が登り柿の色づく今日 快よいそよ風に吹かれ 洗ひ方をなさつては却つて 場いものですから、然ういる 弱いものですから、然ういる になるよ いふやうな洗ひ方をなさる… 洗顔の仕方に就て 皮膚は磨きさへすれば綺

美顔粉白

は粉白粉

▲素顔の整美さに…

" 無美 顔

沈。

は顔の傷めには(洗顔の時でも)石鹼よりも も入浴の時でも)石鹼よりも を痛めます。ごちらかごい お好みの力でしたら美顔クリームが最も適切です)附けて大切に保護なさいますやうお りごした風にあてるのは誠に いまが、素顔を外氣にあてるのは誠に ですが、素顔を外氣にあてる浴のですが、素質を外氣にあてる 化粧川美館水を(クリームをつたら、そのあこへすばやく タオルで丁寧に水分を拭きこ 中は肌のためには最もよくな

ます。白粉が一通り附きましたら牡丹刷毛でその上を押へ てよく落附かせ、それが乾い てから、やはり薄いめの白粉 を前のやうにして今一度でも りこさませて丁寧に願に塗りりこさませて丁寧に願いめの所を中でいる。

いくお化粧が出来るのであります。白粉さしての作用の他に優れた繁美作用のある事は姉妹品の白色美顔水ご同じであります。 つ白すぎず、誠に自然な美しか少しもなく、キジから白い

通の白粉では脂肪が白粉を弾いてよく附かず、また脂肪の ために白粉がわる光りしてお 化粧がごうも不自然になりや すいものですが、肌色美顔水 でする場合の作用 でするが、肌色美顔水 れを土塞こしてお化粧なさいますこ、この性の方の大敵である化粧崩れを防ぎ、また一両皮膚をキジから白く見せてお化粧を一般と引き立たせま ありますが、この性の方は普 次に白粉に就ての御注意で

一粉に白さいなの類さたね葉がを水を住さ化けー

多いやうな方の

御實行を願ひたき事ごも素顔の美を増すためゼヒ かかります。 のやうな純粋の化粧石臓を掌で十分泡立たせ、その泡で軽さくお洗ひになりますやうお調ができます。 **抗顔後の御注意** お湯でほてつた顔をひんや

▲上品ならり化粧に

粉。

顔

のばし、それを萬遍なく顔にのばし、それを萬遍なく顔に の上をそつき押へます。 で洗顔がすみましたら、柔か こつてから、化粧川美顔水を ・顔も頭も入念に拭いてお

白粉の附け方 で、之を顔に附けますこ、この微妙な肌色が皮膚の色にびったりご融け合ひ、そこへ活。 リミノル…こいふ具合になりますので、色の白くない方をますので、色の白くない方をますので、色の白くない方をなった時のやうな態こらしさ 心配でしたら絶對に御無用でも知れませんが、然ういふ御 も知れませんが、然ういふ御 軽い肌色味を帯びてるますが粉は普通の白粉に違つて淡い い研究が打ち込まれてあるの ます。なる程。この水白

白粉を一面に刷きつけて、そかけになります前に、美顔粉 **計**うになります前に、美顔粉があったりになります前に、美顔粉が

手早く

にお化粧の

出來る白粉

のある時でしたら次のやうに 強になります。併し少しお暇 はく美しいお化粧が出來ま なさいますこ、誠に清新な、 下地の拵へ方

化粧が肌色になるのではない肌色美額水ご言へば何だかお 折ういふ方々は同じ い色 美顔水をお川ひ下さい。法の白色美顔水の代りにういふ方々は同じく右の 質の の白 方でくなった 好んでお川ひになつてるますふ方々はやはり脱色美顔水を

なりますが、おに申したやうな方々は、肌色美顔水の概を多く振らず、除り濃くない所をお附けになるのです。然うしたお化粧はりの白さは、質られて変ながあり如何にも清らかに自くで、本常に慎ましやかな かうによつては、ゆち、瓶を からによつては、ゆち、 瓶を はそれを二三度重ねて附ける

を一度に塗るよりは淡いめに変ったのを二度か三度重ねて塗る方がずつこ美しく附き、また保ちもよくなるものですまた保ちもよくなるものです。 誠によく見け、 よくく、御注意なさらねばな りません。次に自粉は濃いの がわるかつたりする三殊に目誠によく見け、お化粧の具合 い。頸筋は自分の目には兄に 鏡をなさるやうにして下さ そのくせ他 桩の具合は

くするお心得 度く行はれてるます。 が得られますので此の仕方が が得られますので此の仕方が ますご、白田が置こと、 上品に美しく、生れつき生地 お化粧上りの白さが如何にも いのこ、ノビやツキが優れて製造されたもので、鉛素や白製造されたもので、鉛素や白 すからで、こりわけ此白めから白いやうな美しさを現 よいのにもよりますが、 らして特に頭化粧用

は忙しい御用の合間なごに一 は忙しい御用の合間なごに一

シール分で自粉の上を軽く押へて おきます。かうしており

頭水は自粉である。 頭水は自粉である。 皮膚を活々を美しくさせる作 別のある美容成分を含んでる ますから、此の仕方でお化粧 なさる方は、洞時に素類の美 を養ふ為にも殊に良い方法を

面倒がらずに見て顔の手入れ

のをお選びになるやうお問め

して必ず鉛分のない安心なも自さが上品に美しいもの。そ

ものであります。

から綺麗に整へる事等を、 門けて肌を垢ぬけさせ、

ても自粉が一番大切であるは、お化粧上のが唯白いとは、お化粧上のが唯白いと

粧の仕方に

2

5

現すもりで、そして

らのですが、味に

な、そして上品な美しさを 断うしたお化粧は非常に清

同時に皮膚の美

顔水か肌色美顔水を一寸す早いふやうな時でする、自色美

な

お化粧をしてるる暖のないこや、突然のお客様で落附いて や、突然のお客様で落附いてすお化粧をいごいふやうな時

徐分の白籾を除り去りますか 附かせるミ共に、浮いてゐる

お探りになるわけであります

頸化粧を美し

美顔白粉が廣く費用されてる

ます。これはこの自物が原料

浮いてるる

を落した素顔の綺麗でないか常に清楚で綺麗です。お化粧などの時でも非 が整つてるるためお化粧が大 でたやうな仕方で美しくなった方は、お化粧の時は生地 であるためお化粧が大 極めて清新な薄化

前に氣の引けるやうな事はあ お化粧なしの時でも決して人 こ共に、また素顔は素顔で垢: メケして美しいのですから、 し易くてお化粧業わする

事があり 少々位汗が出るや

そして、総、最後に、美しい白さの美顔野白粉を少煮、粉白さの美顔野白粉を少煮、粉明毛が又はパッフに含ませ。 つたり、剝けたりするやうながありましても自粉が斑にな

人方の間には、やしまするこのありますのは大へんに惜しのありますのは大へんに惜し 手入れが肝腎 矢張り平生の

は大変全体を活かす美しいます。 本名でせうか? それには矢 張り平生からの手入れが大切 であります。洋顔や犬浴の際 には隅々まで丁寧に洗ふ事。 には隅々まで丁寧に洗ふ事。

がなく、別やす、生んご美し も別談しにくい事もなく、4 も別談しにくい事もなく、4 七八川川 で押へ、それが続い

ですがお化粧には何ご

白粉が適切か?

クキに出ると、東の空がほんの

が戦的な手をあげてさしまねいてつと見つめて居ると美しいニンフ

のめが目に映えながら高

かぎり寄い海ばかり

私達は貨物自動車に乗り込む。地をふんだ。

・ 鳴の明星が東の常にうつと が他は未だ

推画所の質問がほ

ッとかしく

を渡って楽にふれ酸かに耐かに消

そして美しい侍女の舞ふ音樂は水

特づて居た事だらう。本意に作夜からどんなに此の朝を

時三十分、三時五十分時就とにら

沿岸は思ったより平凡だった。二

かいやかしい風

脂かないがそわくした質がないがそわくした質がないがそれば止つた。なん

した気持で陸

無からのがれたかつた。

沈歐道具

いだらうかっ

質白な御殿が立つて居るのではな

持つて部かに階段を上る。

私は嫌だつた。一般も早く此の経

くゴトとエンザンの

視の下には緑の海草についまれて力を持つて居る標に私は思った。

沈面所もにぎやかになつて来たっ

すら思い風が身にしみる。屋の

平野だの

せられる脳はなんとも云へない絵

五時十分一 て来ない。

やうやく水で線がは

きりして来る。

て居る。

るはかを持つて大きく輝い

光成とどへ送もおんだが誰も世き

十二時

五年生

古

野光

天津の町の印象

の情景

流れて行く様だった。

の中に生きて居る事をはつき 大きさをひしくと感じる。自然

つけるショーウインドー快店に歩

「まあ素的」「まあ素的」が壁に

立つた時ー

•

•

•

いので、ある日主任は「どうもは相難にず消信を怠ることが多

.

•

.

つてるた。主任も今度はエデソ は正確にAの記號を次の輝に送

思つて

を興へました。しかしエデソン 低は幾度となくエデソンに注意

財政のをして居たが載信の機械 出来る」とエデソンは相難らず

て無信を打つのを怠けるので

にグウく高いびきで眠つてる

八車が通つて行ったのも知らず ばで屋眠りをしました。そして て、エデソンはよく電信機のそ

の主任が居ていつもエデソンか

エデソンの居る次の際には電信

既信機の間に機械をしかけ、

て居ましたが時々居眠りしてゐ

した「これでゆつくり居眠りが もの記読を押すやうなしかけに ないれまりと離れて無信の はないけん。

日

が書の間除りに一生懸命勉强す

チソンはその間にいくらも勉強

ることが出來ました。ところ

登間の間はまる切り暇なのでエ

いせればよいのである。 だから

るので夜になるとつい眠くなつ

主任は歴だったので次の際と電と高んでみた。ところがある日

ソく意けないでやつて

ハシンパイシテ

大チャンヤ

信で話をして見やら

こ時信をし

たが少しも返事がない「こりや

ることが出来ない。それで始めることが出来ない。それで始めて中は正確にAの記號を送つて展たが、雲の勉強の疲れで眠くてないかと考へてるたがある日いないかと考へながあるとれは時記と ろで君が脱くならないやうな ことがあつてはナ變だ。」 ら毎日二 の信めに汽車に事故が趣るやら 通信を怠ってもらっては困るそ でエデソンは眠くとも居眠りすがすぐ主任にわかつてしまふの の人の記號を僕のところに送り なければ展眠りをしてゐること 岩し三十分毎にAの記號を送り よ」エデソンもしれには困ったたまへ、いくかい、三十分毎だ い方とななへてやらう。これ 分毎にモー 態を送つてゐたのは不思謝だとして《三十分毎に正確にAの記 ない」と主任は汽車で次の際に何か變事でも建つたのかも知れ 號が自動的に發信された。主任ンが鳴つてそれと同時にAの信 高いびきで眠ってゐる。それに つかり感心してしまつたさ 思ひながらヒョイと電信機の方 電信室のペッドの上にグーグー かけつけて見ると、エデソンは を見ると丁度二十分の時間のリ ンの知識のあるのにす

過した時間を電信で大の瞬に知

だ。エデソンの仕事は列車の通 るといふことは大した川世なの

一等になった 兒 童の 品 (未远

ヒュウくなしい風切って二輪車に乗るのはゆくわい

大廣場小學区三年

チリントへルならし

うまくのつて 行くんです

突となると腹がどきくして心酷がとなると腹がどきくして心酷が 競技質はいよ でたまらな 山本幸! いけれど、何時か校長 しさ 入時三十分から 子 朝々乗ってらんどうします すつてんどう はじめはヒヨロく

と考へないで、だいじやうぶだと い」とおつしやつた事を思ひ出し 走れば、まけることはな 出て居るので急に心跳になって來 た「あの人たちが私が走つてゐる 起るコースの上には人がいつばい つた。それは八番コースである。 コースについて向ふを見ると私の てつくじをひいたら十と書いてあた。そして「だいじゃぶだ」と思

う」その時作藤さんが走って行つ と言って きじやまになったらどうし 「此のコー スは走りますからの

つてもかまはないと思つてゐたら 出て来た人はスパイクでふんでや はしたが又出てくるの私は定る時 「用意はい」ですかしますよ」 らつしやつたので安心



立つた時――自然の美しさ自然の騒然たる秘密を離れて大海の中に く低く飛んで行 界フランス租界等美しい町に入る候をまがると語ドイツ和界英國租 角をまがると猫ドイツ和界英國和されたい通りを一定りする。

爾生高女北支那旅行記——《ID

物珍ら

作った支那の家の前に真赤な浩物 ムンカテをふつた、陸地の人を見 家が上絶へると見渡すかぎり廣い を溜た支那娘が立つて居る。みな 海水が黄色に、 白河にかゝる。どろで にこり 連設される。 つた。 私は何本彼をが珍しく見えた。しなかつた。一日船の中で暮した 車は門がまへの立脈な旅館に選入 十分程定ったと思はれる事、自動 フランス公園、ヴィクトリヤ公園 私は変那に來て居る様な類が 中原公司と云ふ安那百貨店に選入 る。非常に大きいが品物の七階は 日本態だと云ふ事で少なからず層

くなったと云ふ所

貴女をスマ

トな女性美に

純植物性のメヌマポマード

さに

311

見惚れるやうな

髪艶の黒

女性美の誇です

黑髪と若さは

見違へるやうな

自然の若

五時、私送は大和ホテルの日本間 後は歐米化した天戦の町を散歩すりとお風呂に入つた。 おいしい御飯に舌顔を打ちゆつく 日本租銀に通人る。日本租界は現代である。日本租銀に通人る。日本租界は現代であれば程度まで東郷であれて目 K ...

湯た野髪の暦毛の長い唇の は歴火の光でほーラと赤くば 居た。階の日本租界をつ

網泊なお

M-42

人チ ヤ

ルミ

チ

作

5

ゥ

畵

(六)

ノタンケン (129 y

ソトニデ パウヤ 大チャン

學がの といふので元氣が出て、きつといふので元氣が出て、きつ テープが見えた。 すぐ決断といふ時、 「熊岳城しつかり一等だ」

0 1

だって、ひきかへして来た。とむ中で飛込んで三米実位さきま 田先生が つくはないかし 「えらかつた、えらかった、

いました。逆る前皆がとおつしやつて兩手を握って

よかつた」と思ふ 一等とつてよし れ一等

といったことを思ひ出して「 一等とつたら二十五獣になる んでした。 ◎最奇の薬店及難貨店にあり



毛

髪を

美;

中中 入連南山麓柳町三二一(共營住宅東市停留

コム手様は贅沢品ではなく 經濟上実用的日用品なり 電話七九八

永原小兒科醫院

七

郷海的管理品です (ひもけ) (別海州にお湯を沸すに一日の燃料十銭に見積れば多期中を加炊事用にお湯を沸すに一日の燃料十銭に見積れば多期中多加炊事用にお湯を沸すに一日の燃料十銭に見積れば多期中

定 億 一組 一 関(送料表) 特長は貼日なき簿の細蜜の仕事が出來且保温の貸め「ラクダ」 製造 家庭用子书写等 日本ハナキゴム製造所所下南干住町三丁目二二〇

內科專門

櫻井內科醫院

花小內 柳兒 科科科

光



語結核性疾患の豫防治癒に せしめ一層効果を顕著ならしむがの解熱殺菌兩様の作用を併合 肋膜炎 慢性肺炎 原語 氨管支炎 鳴風 百日環路前核 嗪頭維核 慢性 「呼吸器病の幾生法』

町都灌護東市較大 店商吉友澤雄 献市 京张 安潔

一年ヶ月月 100

世は緊縮!

かぜとねつには

の知り即の

かぜの神には訪問謝絶!!

無病で稼げ

わがヘブリン丸こそ真のかぜ薬であります。器管に故障を與へず、おだやかに、ねつを下げるといせの薬なら何でもよいと思つてはなりませんかぜの薬なら何でもよいと思つてはなりません

資准 社會式株堂天參 市阪大

質量をムーリクマメメも含を素水化酸過

神たの料き原式學学化さな効果有等に富さ整き則是美での人类代表近近はムーリクマヌメ すで料で白き美いの制に焼きいな多くの概念もに果然性でだま、ため本語を 0) [6] 價定 せまいさな用物でを配する ヒゼ に方にの性にれた。顔にらぶあ、方にい黒

東京非 田 京

化目 DE SH

M IT

あ栗

り店

柴 堂

マ六日

是 州縣

ナ七段画

B-176

世紀の前

多數の棋客が

秘術を盡して戦か

廿七日圍碁大會の盛况

大孤山殉職者の

盛大な社葬

廿七日鞍山にて執行

千數百名の會葬者

旅客の不便を一場

するため

久留鳥局

不國水兵が

東京、京城間を

期待される

大孤山從耶負、石榴都讓委員長 一次,決學中學校長、土田青 學是、美學中學校長、土田青 學是、美學中學校長、土田青 學是、美學中學校長、土田青 學是、大學中學校長、土田青 學是、大學中學校長、土田青 學是、大學中學校長、土田青 學是、大學中學校長、土田青 學是、大學中學校長、土田青 學是、大學中學校長、土田青 學是、大學中學校長、大田青 學是、大田青

安山 出って は五時終了したが、人智島緩緩を は五時終了したが、人智島緩緩を 何く感でまつて暗涙に駆び、遺族 鞍山始っての順序で爆音をなし は勿論等列者をして泣かしめた 大倶ミ育成の 日下大連場所は内容標準は中の米 エーリ外内名は十七日午前十時頃 を順に向つたが午後三時過大連響 長は旅戦を動中故意が知らずして か最も重要なる要悪地帯を撮影の兵は旅戦見物中故意か知らずして

ラグビー戦 自動車が午後四時頃山縣通を通行に、大田町、常線橋派出所等を特に、大田町、高線橋派出所等を特に、大田町、大田町、高線橋派出所等を特に、大田町、大田町、常線橋派出所等を特に、大田町、大田町、常線橋派出所等を 新をとり既に緊張し松山家紅葉町で、大連においては各警察と連 ので、大連においては各警察と連

手参會し都合三十八名が入代り立 の手合せは参會者一同に非常の與其他市中よりも自信ふる打 外として闕崎四段が有段者を転引の會員其他市中よりも自信ふる打 外として闕崎四段が有段者を転引の會員其他市中よりも自信ふる打 外として闕崎四段が有段者を転引 大連棋院主催本社後援の秋季順巻 頃まで熟心に鳥鷹を職はした結果 一等より十五等までそれと あり鑑音裡に制合したが、當日番 外として順幅四段が有段素を魅手 の手合せは愛含者一同に非常の與 を吸ぐた したと云ふので更に騒ぎの機大をじ運轉手を収謝べると、既に下車に運轉手を収謝べると、既に下車 等は何れも寫試機を所持してゐる 類水長があるので憲兵職員、山縣 関水長があるので憲兵職員、山縣 **敞重収謝中である** 見た、然るに午後五時山縣通百五 ばいかる丸就航 定期*

報ぜられたが、同船はさきの坐礁。船ばいかる丸は定期ドツク入りを 山本院長は常時新郷であつた磯エ

力を振翳

て飛出す

か 怪漢

を表示、今回寺見海東部に野龍場を でさしも殿き織内も手狭の脇かる でさしも殿き織内も手狭の脇かる でさしも殿き織内も手狭の脇かる に顕ひ出た に顕ひ出た

〇九州衛澤大島に終て、九州大事教授 小野寺 関戦 博士 お事教授 小野寺 関戦 博士 お事教授 小野寺 関戦 博士 おり は対け

世界日曜學校

盛會

野積場擴張のため

ぜんそく

二分間治療

満鐵から關東廳へ出願

男は指物商

直ちに取押へらる

八として取調中

所の日曜學校の可愛い子供邀、青館において開催された、態るもの

七日午後一時学より敷島町青年倉世界日曜野校デーは既報の如く止

十回に及んだが博士等は山本氏に

慰藉料請求に 醫者が敗訴 注射で人を殺して 新例開かれ開業醫恐慌

埠頭構内線を 寺見溝に延ばす

生

合

支拂未濟配常介 本負債計

現當有營營假持貸銀前辦 類價 用地辦貸付 翻 越来 實資產業用地辦貸付 翻 越来 實資產產 大學器物 自由 全 全 全 经 是 全 全 全 全 全 全 全 全 全 之 之

第二大連株式歸會社



御館の留かい上小丸の人間のの安の角上の火種で羽鮮根炭

南炭問屋 共進

ASSINGLIST STATES STATES

る御方を特に維持ち致し、一般及び顔朔の御手数のかに、一般のさせます。一個人に勉めさせます。一個人に勉めさせます。一個人に勉めさせます。

存機各位の御希望の関係を持つの御希望の一般を持るための一般を持ちた。

合期經 引 純過託據信 計益利 認

勘

郷多級語し

新太郎

各種 ストストングラング

個全滿米殺同業組合即中 電話四〇〇〇番におかけ下さい

野小北外郷龍北蒙有柱千岡石井今 兩高女籃球戰

育成 本界原田印藤書上原崎原野田 五野十三にて何れる神明高女の勝

神明高女野郷生高女の野校短球殿



大孤山殉職

百の盛大な社葬 ふ鞍山で執行され

預備銀前法資 行 線積本負 助 越立 位計 金金定金金金之

山本氏は上告の

關買會

貴組合米 製炭査證票ラ 私用シ接 貴組合米 製炭査證票ラ 私用シ接 大連市紀伊町二十七番^塩 **村誓ヒ此段紙上ヲ以** リニ御座候自 今如斯 用シ絵査 米ノ信用ヲ ホ あ の

から戦するモダ **漢口首相の自動車と誤談して漂び来つたものらしく重大犯人として目下艪町署で展鵬中であるり翳して飛び来つた男あり附近警戒の巡査が展押へたがこの男は愛宕町三ノ四指物商吉田一郎といり翳して飛び来つた男あり附近警戒の巡査が展押へたがこの男は愛宕町三ノ四指物商吉田一郎といりいた。 「東京廿八日發電」本日午後一時二十分ごろ首相宮邸前にて宮邸から出て来た自動車に突如短げを禁** 首相を狙

出入列車の運命を左右する 車務課の努力譚 の樂譜

● であらう、同様に関いを感じる、場践構内 を観響の努力もまた質ふに微しては最もの をであらう、同様に関い避るレールの長さ、 のであらう、同様に関い避るレールの長さ、 の形式の努力もまた質ふに関いまする を関いる、場践であるもの をであるもの。 をである。 をでする。 をである。 をである。 をである。 をである。 をである。 をでる。 をでする。 をである。 をである。 をでする。 をでる。 をでする。 をでる。 をでする。 をでする。 をでする。 をでる。 をでする。 をでする。 をでする。 をでる。 ◇…粉々 にして働いてある。最近繁忙期に入り一日の到清貨車数は入百七、八十車での到清貨車数は入百七、八十車でである。最近繁忙期に入り一日 との間に身を との間に身を との間に身を

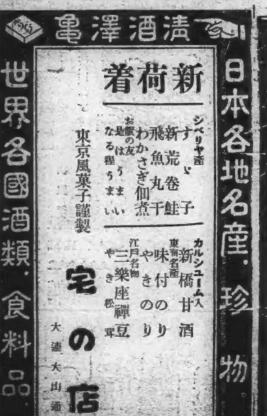
お、重大な資性を背負はせられ、れるのだ、係員の用在數は四百九

を行ひ、数多くの引込線でドー ソ場職権内の目的地に運ばれるッド かくて戦物が完全に飼されるッド

大部會長の司會にて開館小さい子 大部會長の司會にて開館小さい子 をして考たまりませんやのいてしまふんじやないかと思 また横内には約三十六 要多くの形式版でに 一覧車の分解作型 が作業

へて色人等れる「脳分忙しい

隨意 8 大連市大山通三越隣リ 地名



水耳鼻咽喉科

醫学博士森本辨之助 電話五三七〇

でも何端へでも出てゆくを極するので健康います」。
歌として彼女の際は歌く美知子 ません!若しあの方が罪を私なけません!若しあの方が罪を私なけ のつたら、兄の魂は浮ばれないでか襲罪の難に落ちるやうなことが の苦み、 大きな憶ろしい個ない地震 実知子は吐息と共に云つ で

女と一様に、紫護士のところへか 兄さまの歌人事件に聞いてのあなおの苦み、最後の決わ……みんなお しのお願ひは職職なんでする人類 しかし無確土を依頼するには、相

四松帝國大學教授後藤醫學博士等諸先生の御後授

得て一段ミ進步向上し殆んど完全紙以

ご御指導を

便利

火持長く・口格低廉】



か、何か知らなか

締切延期

仁丹金言小話

心の清潔なる者は天の愛する所なりてあ 頃、

3

いろうして

・欧洲行 豊 岡 丸 元 だあかれ

叩兒

は作 大村



井上醫院 11日本郵船出帆 **泤**尿 **電話五二六〇版** 性 病 松性下角 生殖器障碍 層 器病

大連芝罘間命守河其外 大連芝罘間命守河其外 医海九 大连加賀町三〇 大连加賀町三〇 大连加賀町三〇 東部切符建資所(大連市伊勢町) 東部切符建資所(大連市伊勢町) 東部切符建資所(大連市伊勢町) サバンツーリスト・ビューロー 大連系为所 建五五五五四番 反高語汽船大連出帆

七三大五二

●天 津 行 天蘭丸 一天津丸 一天津丸

がいシットリストピューロー 大連案内所

世阿波共

青島上湖打 縣山東 古 128 大阪河北 英 文 中 代理店 大 連 支 中 代理店 大 連 支 中 八 理 支 中 八 理 支 中 ||日清|||新 血されカ門名は 灣屋 精 一時も早く御服用御活潑な左記効能書に該當のお方は る御活動を祈ります ドラゴン補血過出精力増進

の非常に出て瘠せる人

枠兼股級高 飼製双米歌 所作製ズンレ黄具

賣入

● 旗 領 行 本ューナード海の大連代理店が鮮郵船株式舎社大連代理店が鮮郵船株式舎社大連代理店が鮮郵船株式舎社大連代理店が鮮郵船株式舎社大連代理店とでは、一大連市山縣通電話と八四六番 ・経路維力基

●欧州行(上海香港新高城脈由)数容お断り ● 新鮮城田長 編集九 を経済で、からびあえ、十月本の経済で、からびあえ、十月本の日市横瀬県由) ・経済で、からびあえ、十月本の経済で、からびあれ、十月本の経済で、ののであれ、100円の日市横瀬県由)

完全に防ぎます

到直 少輪

藤 近 掂 五一可速度由連大、元賣穀總デーデ



は

發賣元 東東 三十 役三 四(携帶洋戦件) 三百十龍 十 四(機勝)

級 群京

六月房二町 番二房番入

(手切品商) 店商村西 第五三九四章 地番二〇一通四 五三九四章 独九于城市可溯信

倭文子も寂しげに微笑んだ 大連民政署內大連獎勵(上月號) 定價金二

すから、貴後の決心をしなくては一かたしも以今では小薬薬糖の要で

「…最後の狭心と仰有るのは?」

真野さんをお救ひすることが出來すから、最後の決心をしなくては

「……あなたこそ

女子の離色は、

まるで青年の

つたっと、倭文子がふいに云った て來た。ふつと美知子は寂しくな

森があの方に取つて不利益な設営

・最後の決心をしなければなら

めた。すると

眞に潑溂たる

しは、ですからたまこつそりと草 り他ないのです……わたしは誰に も2世で、草野さんに差入物をし てをります、それがせめてものわ たしの心の態めなので御座います

美知子は敵を明るくしなが わたくしほっとしました

汲めども 盡きぬ

臺灣日本蛇族研究所責任創製

足せしむ、從つて早老的性慾

かなまま

ホルモンELんなれば、精力 海り であれるというできなく生殖器、一分一や

健康男女も

芦茱博士推義

本機服用すれば、頭腦性能より以上に本機服用すれば、頭腦性能より以上に

各地特約店募集

親して頻陳代謝によりあらゆる全身の機能が新活動をなす爲めであります。。震効は凝層特能たる蛇精の張烈な抵抗力が全身に充實し體内に特別の新精力を被以上の人が服用すれば乾度強顯があるのであります。之れは要するにドラゴンの

身體を張健に元氣好く活動したき人 財際の職り、食然骨進を顕ふ人 性感減退を恢復し性的に若返りたき人 性感減退を恢復し性的に若返りたき人 地域力を強め、食然骨進を顕ふ人 が動くて常に纏貫に罹り易き人 皮膚が弱くて常に纏貫に罹り易き人 皮膚が弱くて常に纏貫に罹り易き人 を腐ったき人

代倒

京園間を設古へ入場出山野・一般には存動の演奏ホテ人内を四一三倍漫町演奏ホテ人内を四一三倍漫町演奏ホテ人内を四一三倍漫町演奏が大災市伊東

大阪商船

か河口切符装置所 大山通り切符装置

國際運輸館大連支

一百八十粒入 金八圓五拾錢

(142)

窓